

HOLLYVOX

Hollyvox G51 同時双方向 ノイズキャンセリング (ENC) ワイヤレスインターカムシステム

ユーザーマニュアル

V2.0

ユーザーマニュアル

目次	2
安全上のご注意	4
第 1 章：製品紹介.....	5
1.1 主な特長	5
1.2 製品インターフェイス	6
1.2.1 ベースステーション	6
1.2.2 ベルトパック	7
1.2.3 回線配列インターフェース	9
1.3 同梱物リスト	11
第 2 章：製品の取り付け.....	17
2.1 ベースステーション	17
2.2 ベルトパック	19
2.3 カスケード接続	20
第 3 章：ベースステーションの操作.....	29
3.1 ディスプレイインターフェイス	29
3.2 操作方法	30
3.2.1 ネットワーク設定	30
3.2.2 マスターとリモート	31
3.2.3 4線式設定	32
3.2.4 言語	33
3.2.5 グループプリセット	33
3.2.6 2線式設定	34
3.2.7 リセット	36
3.2.8 情報	36
第 4 章：ベルトパックの操作.....	37
4.1 ディスプレイインターフェイス	37
4.2 操作方法	38
4.2.1 メニューの説明	38
4.2.2 ベルトパックのグループ化インジケータライトの状態	40

第5章：Web ページの設定	44
5.1 ベースステーションの設定	44
5.1.1 ネットワークケーブルで、ベースステーションとコンピュータを接続します	44
5.1.2 Webページにログインする	45
5.2 ベルトパックを設定する	47
5.2.1 ベルトパックの名前を変更する	47
5.2.2 ベルトパックをグループ化する	48
5.3 インターカムシステムをグループ化する	49
5.4 カスケード接続されたインターカムシステムの設定	50
5.4.1 ベースステーションを、マスターまたはリモートデバイスとして設定します	50
5.4.2 カスケード接続された2線式システムの設定	51
5.4.3 カスケード接続された4線式システムの設定	52
5.4.4 ベースステーションのネットワークの設定	53
5.4.5 ベースステーションの言語の切り替え	54
5.4.6 ベースステーションのリセット	55
5.4.7 ベースステーションのファームウェアのアップグレード	56
5.5 Webページの終了	58
第6章：Hollyvox アプリ	59
6.1 Hollyvoxアプリのダウンロード	59
6.2 ベースステーションのWi-Fiにスマートフォンを接続します	59
6.3 ベルトパックを設定する	60
6.4 グループ化の確認	61
6.5 パラメータの設定	61
6.5.1 M&R設定	62
6.5.2 2線式設定	63
6.5.3 4線式設定	68
6.5.4 Wi-Fi設定	72
6.5.5 言語	72
6.5.6 リセット	73
6.5.7 通話設定	74
6.6 Hollyvoxアプリの一般設定	75
第7章：仕様	76
第8章：サポート	78

安全上のご注意

安全を確保するため、Hollyvox G51 を使用する前に、以下の安全上の注意事項を読み、正しくご使用ください：

- バッテリーの過熱や爆発を防ぐため、本機を加熱装置 (電子レンジ、IH 調理器、オーブンレンジ、電気ヒーター、電気圧力鍋、給湯器、ガスコンロを含むがこれらに限定されない) の近くまたは内部に置かないでください。
- 製品に同梱された正規の充電器とデータケーブルを使用してください。
- 非正規または互換性のない充電器、データケーブル、バッテリーを使用すると、感電・火災・爆発など、危険な状況が発生する恐れがあります。
- 電源ケーブル、特にプラグ、コンセント、デバイスから出ている部分を、踏みつけたり強く曲げないでください。
- 雷雨時や長期間使用しない場合、デバイスの電源プラグを抜いてください。
- Hollyvox の有資格技術者でなかったり専門家の指導を受けていない場合は、本機を分解しないでください。
- 修理作業は、すべて、メーカーの有資格技術者が行う必要があります。

Hollyvox G51 同時双方向 ノイズキャンセリング (ENC) ワイヤレスインターカムシステムを購入頂きありがとうございます。

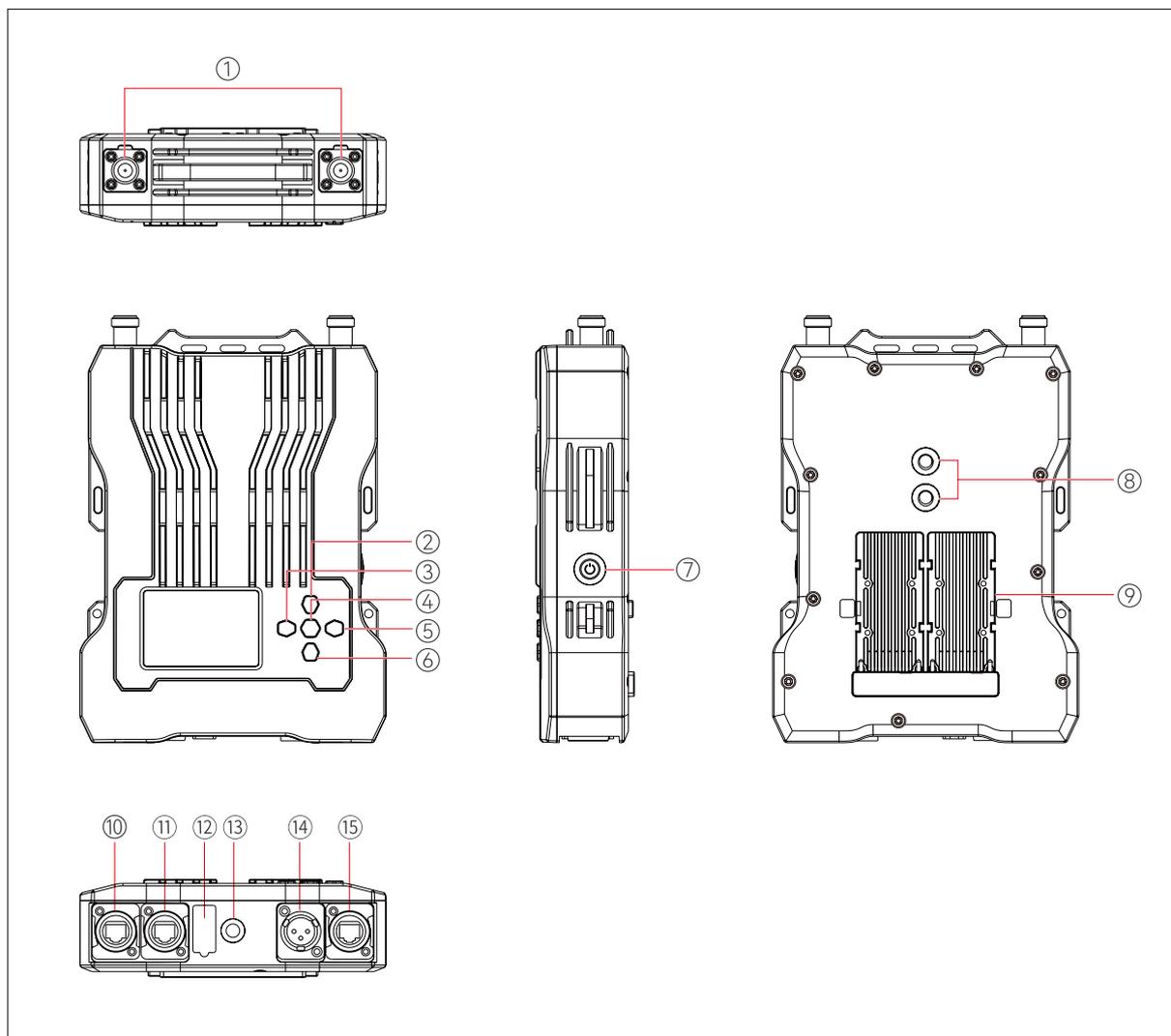
今までワイヤレスインターカムシステムをお試しいただいたことがなくても、Hollyvox G51 同時双方向 ノイズキャンセリング (ENC) ワイヤレスインターカムシステムというワイヤレスインターカムの中で最適なシステムを体験していただけます！本機には独特の魅力がございます。本ユーザーマニュアルでは、現場での通信を開始するために必要なデバイスの設置や電源接続など、Hollyvox G51 の使用開始方法について説明します。

1.1 主な特長

- ボタンを押さなくても、8人までのベルトパックユーザーが Hollyvox G51 を使用することができます。ベースステーションとヘッドセットとの間の無線送信範囲は、最長 1,300 フィート (400 m) です。
- キャリアグレードの音質を有し、バックグラウンドノイズがなく、サンプリングレート 16kHz、周波数範囲 200Hz ~ 7kHz、SN 比 60dB、歪率 1% 未満です。
- 1.9GHz の周波数で動作し、各国および各地域の周波数規制に適合しています。
- プロ向けの 0B10 ヘッドセットは、堅牢で耐久性があり、快適に装着できます。
- ベルトパックには、コンデンサーマイクヘッドフォン用の標準 3.5mm ジャックが搭載されています。
- ベースステーションは、2 線式および 4 線式インターフェイス、POE/LAN インターフェイスを搭載し、複数のベースステーションやインターカムシステムをカスケード接続することができます。
- ベースステーションにはパネルアンテナが内蔵され、自動切り替えによって外部グラスファイバーアンテナに接続できます。
- 各ベルトパックには取り外し可能なリチウムポリマーバッテリー搭載、稼働時間は最大 6 時間です。付属の充電ベースを使用すると、わずか 2 時間で、一度に 8 台のベルトパックと 8 個のバッテリーを満充電できます。
- ベルトパックはツーショット射出成形テクノロジーで製造されており、簡単に交換できる着脱式アンテナが搭載されています。
- グループで協力し、コミュニケーションをサポートします。複数のカスケード接続を簡単に設定し、各ベルトパックをグループ A、B、C で使用することができます。
- ベースステーション、アプリ、ウェブサーバーを使用して設定、管理できます。
- デュアルマイクによる高性能ノイズキャンセリング (ENC) テクノロジーにより、不要なバックグラウンドノイズを効果的に遮断し、厳しい環境下でもクリアな音声を聞き取れます。

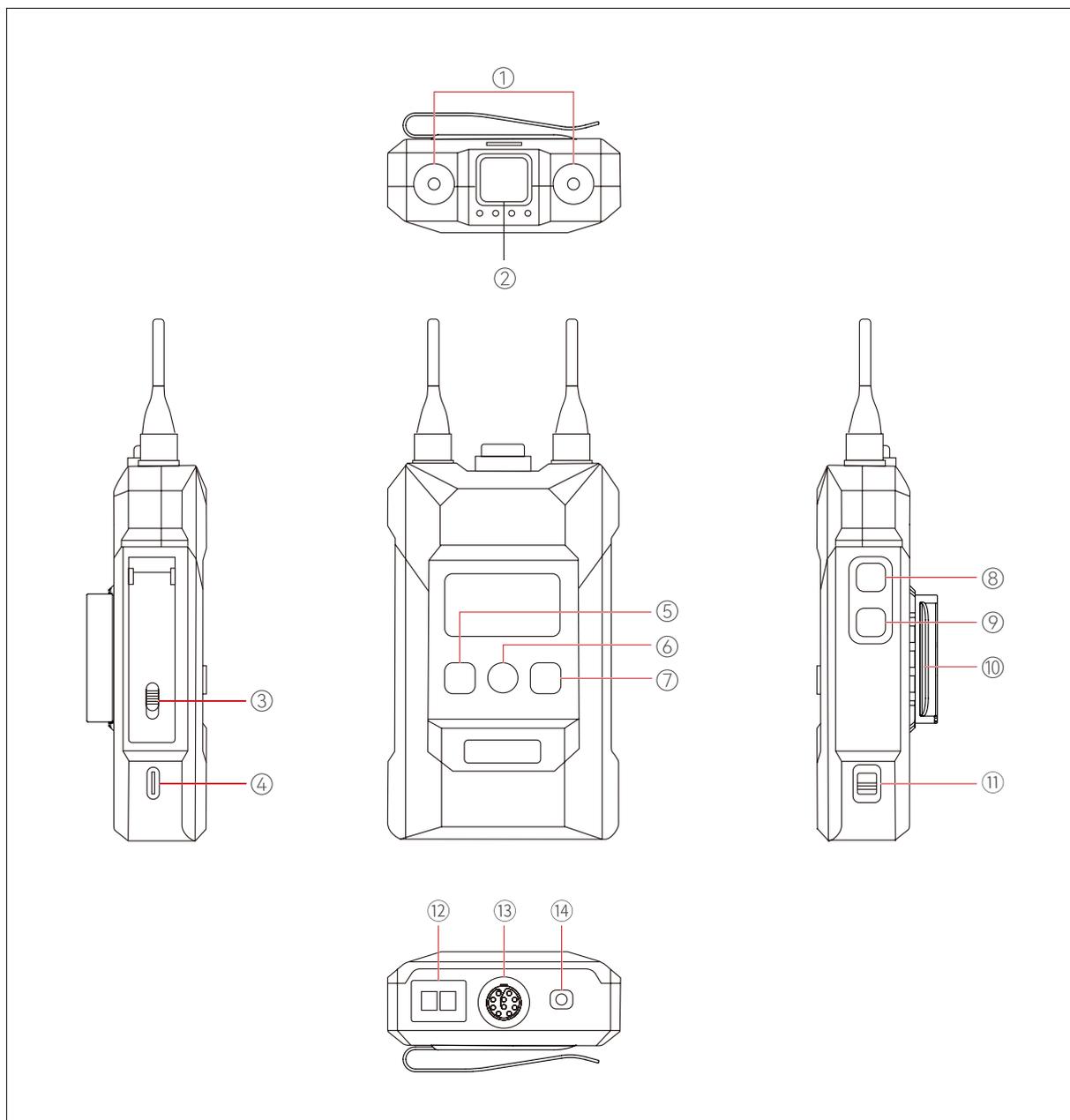
1.2 製品インターフェイス

1.2.1 ベースステーション



- ① アンテナインターフェイス
- ② 上ボタン
- ③ 左ボタン
- ④ メニュー/確定ボタン
(長押しでメニューインターフェイス/1回押しで確定)
- ⑤ 右ボタン
- ⑥ 下ボタン
- ⑦ 電源ボタン
- ⑧ 3/8ネジ穴
- ⑨ NP-Fバッテリースロット
- ⑩ 電源供給インターフェイス
- ⑪ 4線式オーディオ入出力インターフェイス (RJ45)
- ⑫ USBインターフェイス
- ⑬ 3/8ネジ穴
- ⑭ 2線式オーディオ入出力インターフェイス
- ⑮ POE/LANインターフェイス

1.2.2 ベルトパック



製品紹介

- ① アンテナインターフェイス
- ② 通話ボタン (ボタンを押して通話/ボタンを放すとミュートモード)
- ③ バッテリー収納部のつまみ
- ④ USB-Cインターフェイス
- ⑤ 左/グループAボタン

(インジケータライト消灯時はベルトパックユーザーがグループに属していない。インジケータライトが白で点灯時は、ベルトパックユーザーがAグループに属しているがグループ内の他の使用者と通話できない。インジケータライトがオレンジで点灯時は、ベルトパック使用者がAグループに属していてグループ内の他のユーザーと通話できる。)

- ⑥ 確定/グループBボタン

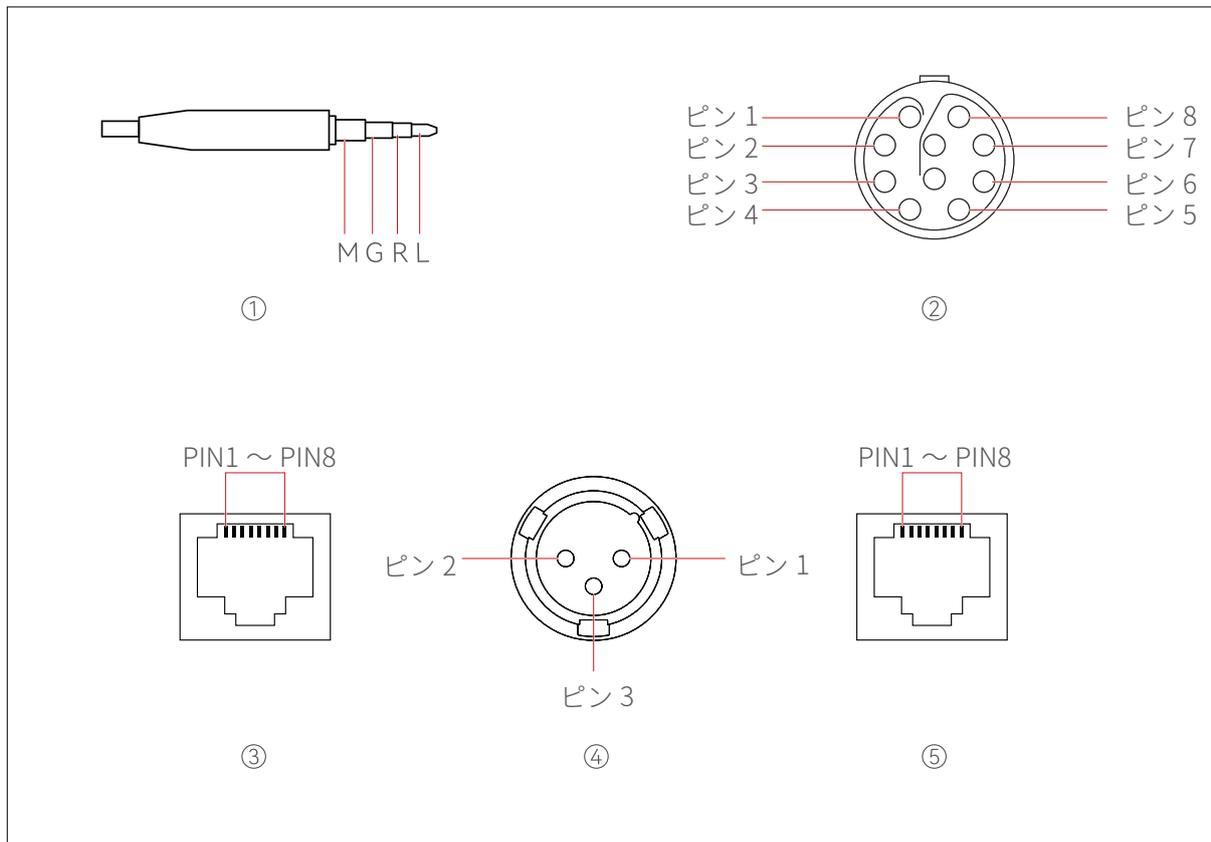
(インジケータライト消灯時はベルトパックユーザーがグループに属していない。インジケータライトが白で点灯時は、ベルトパックユーザーがBグループに属しているがグループ内の他のユーザーと通話できない。インジケータライトがオレンジで点灯時は、ベルトパックユーザーがBグループに属していてグループ内の他のユーザーと通話できる。)

- ⑦ 右/グループCボタン

(インジケータライト消灯時はベルトパックユーザーがグループに属していない。インジケータライトが白で点灯時は、ベルトパックユーザーがCグループに属しているがグループ内の他のユーザーと通話できない。インジケータライトがオレンジで点灯時は、ベルトパックユーザーがCグループに属していてグループ内の他のユーザーと通話できる。)

- ⑧ 音量+ボタン
- ⑨ 音量-ボタン
- ⑩ バッククリップ
- ⑪ 電源スイッチ
- ⑫ 充電接点
- ⑬ 0B10ヘッドセットインターフェイス
- ⑭ 3.5mmヘッドセットジャック

1.2.3 回線配列インターフェース



① 3.5mm ヘッドセットプラグ

接続：M G R L

マイクのインピーダンス：

600 Ω

スピーカーのインピーダンス：

32 Ω

② 0B10 ヘッドセットインターフェイス

ピン 1：GND

ピン 2：DET

ピン 3：GND

ピン 4：SPK

ピン 5：MICP

ピン 6：MIC_GND

ピン 7：MICP2

ピン 8：ENC_KEY

③ 4線式インターフェイス

入力インピーダンス：10K Ω

ピン1：NULL

ピン2：NULL

ピン3：AUDIO OUT+

ピン4：AUDIO IN+

ピン5：AUDIO IN-

ピン6：AUDIO OUT-

ピン7：GND

ピン8：GND

④ 2線式インターフェイス

ピン1：GND

ピン2：POWER

ピン3：AUDIO

⑤ POE/PWR インターフェイス

ピン1：-POWER

ピン2：-POWER

ピン3：+POWER

ピン4：+POWER

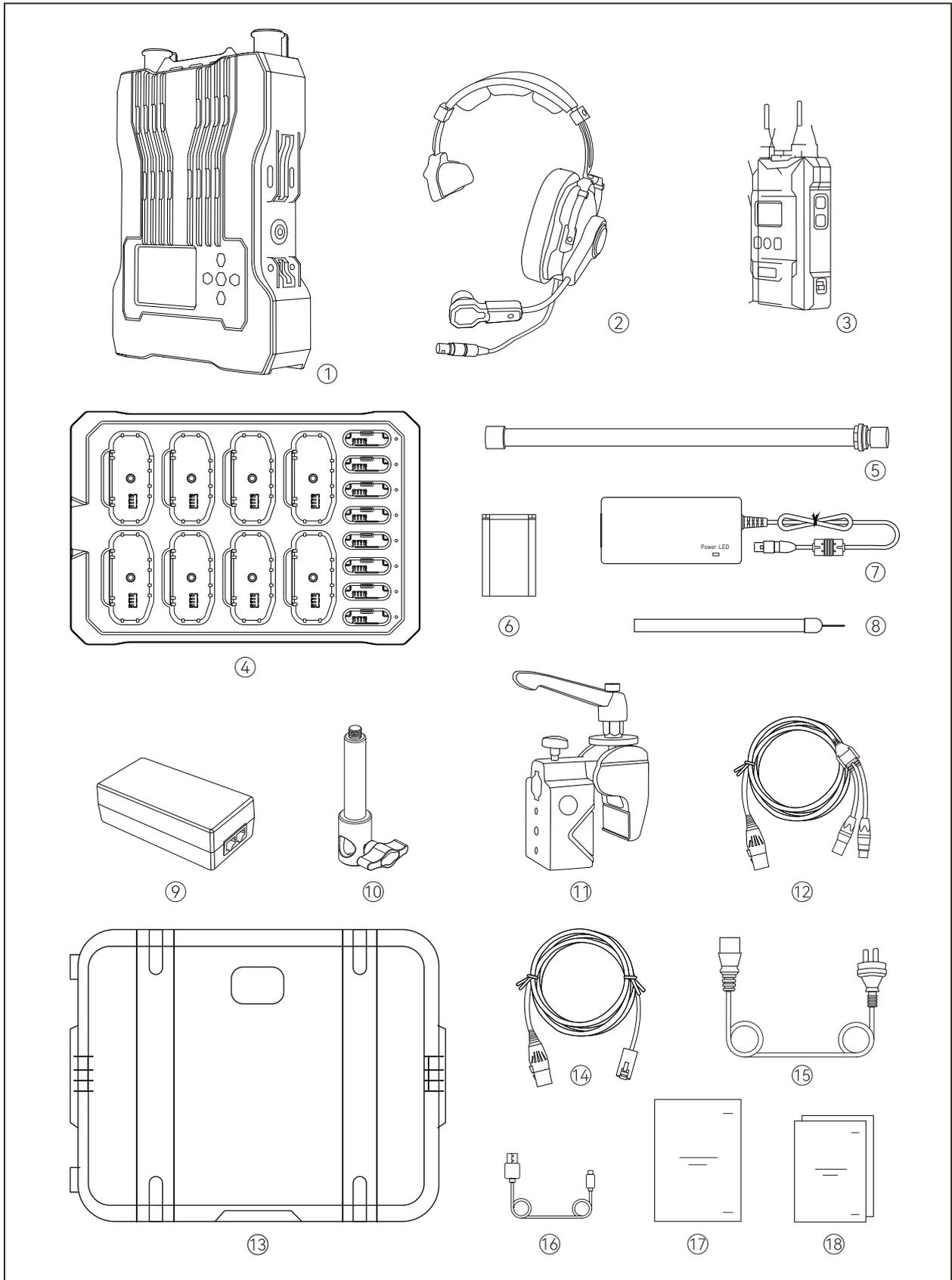
ピン5：+POWER

ピン6：+POWER

ピン7：-POWER

ピン8：-POWER

1.3 同梱物リスト



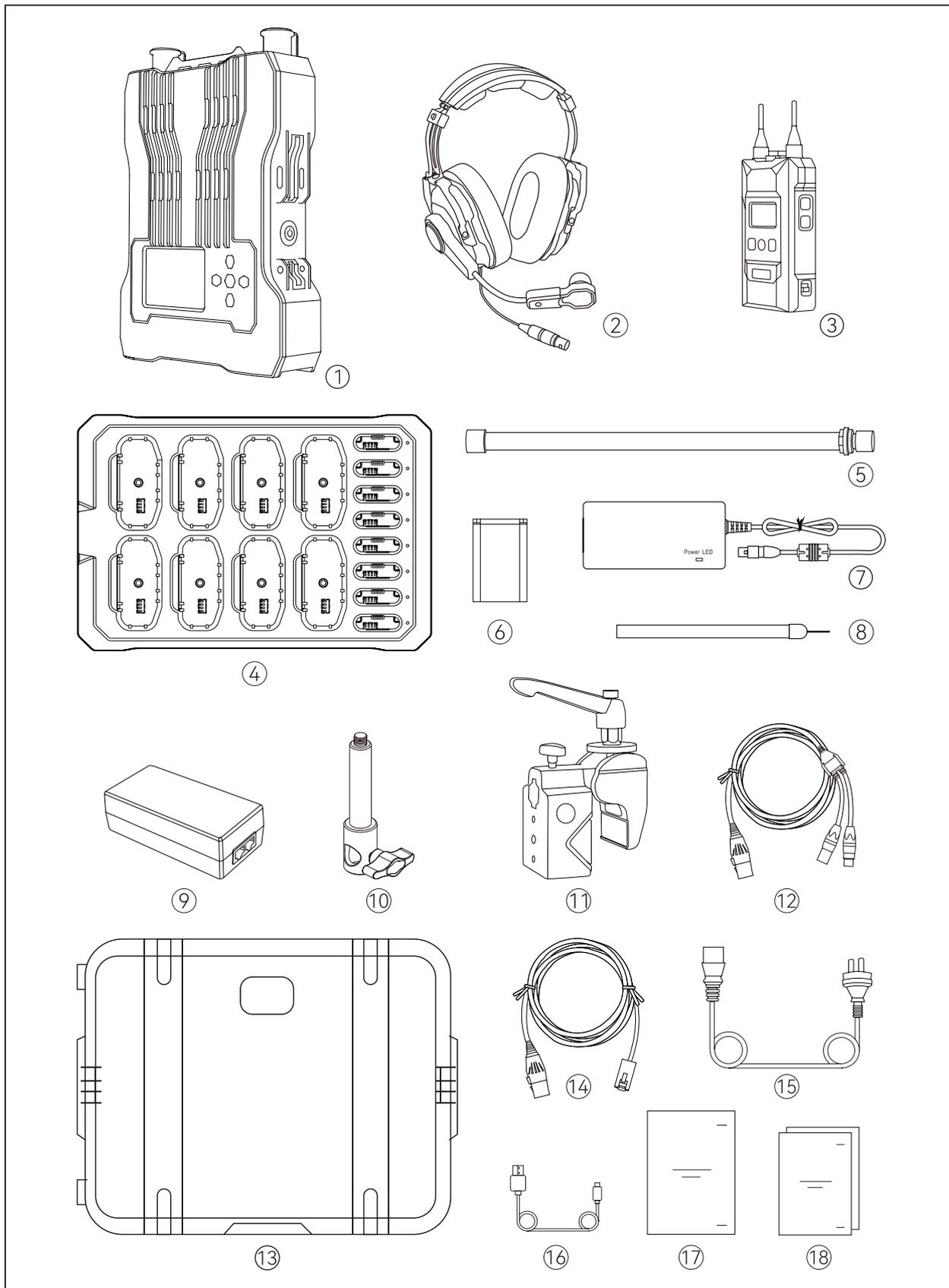
■ 8個のベルトパック、片耳ヘッドセット

① RU51ワイヤレスインターカムシステムRRU.....	x1
② エレクトレットマイクENC片耳ヘッドセット (HS01)	x8
③ BP51ワイヤレスENCインターカムベルトパック	x8
④ ベルトパックバッテリー充電ベース(CB01).....	x1
⑤ 外部ファイバーガラスアンテナ (AT01).....	x2
⑥ BP51用ベルトパックバッテリー(BTY01).....	x16
⑦ 4ピンXLRアダプター(ADAP02)	x1
⑧ ネックストラップ	x8
⑨ POEアダプター (ADAP01).....	x1
⑩ 3/8取付ネジ (MS01).....	x1
⑪ RU51用カニクランプ (CC01).....	x1
⑫ RJ45 対 デュアルXLR変換ケーブル(CA01).....	x1
⑬ ハードシェルキャリングケース.....	x1
⑭ RJ45 対 XLR変換ケーブル.....	x1
⑮ AC電源ケーブル	x2
⑯ USB-A対USB-C変換ケーブル.....	x1
⑰ ユーザーマニュアル.....	x1
⑱ 同梱物リストカード、保証カード、安全ガイドライン.....	x1

■ 4個のベルトパック、片耳ヘッドセット

① RU51ワイヤレスインターカムシステムRRU.....	x1
② エレクトレットマイクENC片耳ヘッドセット (HS01)	x4
③ BP51ワイヤレスENCインターカムベルトパック	x4
④ ベルトパックバッテリー充電ベース(CB01).....	x1
⑤ 外部ファイバーガラスアンテナ (AT01).....	x2
⑥ BP51用ベルトパックバッテリー(BTY01).....	x8
⑦ 4ピンXLRアダプター(ADAP02)	x1
⑧ ネックストラップ.....	x4
⑨ POEアダプター (ADAP01).....	x1
⑩ 3/8取付ネジ (MS01).....	x1
⑪ RU51用カニクランプ (CC01).....	x1
⑫ RJ45 対 デュアルXLR変換ケーブル(CA01).....	x1
⑬ ハードシェルキャリングケース.....	x1
⑭ RJ45 対 XLR変換ケーブル.....	x1
⑮ AC電源ケーブル	x2
⑯ USB-A対USB-C変換ケーブル.....	x1
⑰ ユーザーマニュアル.....	x1
⑱ 同梱物リストカード、保証カード、安全ガイドライン.....	x1

製品紹介



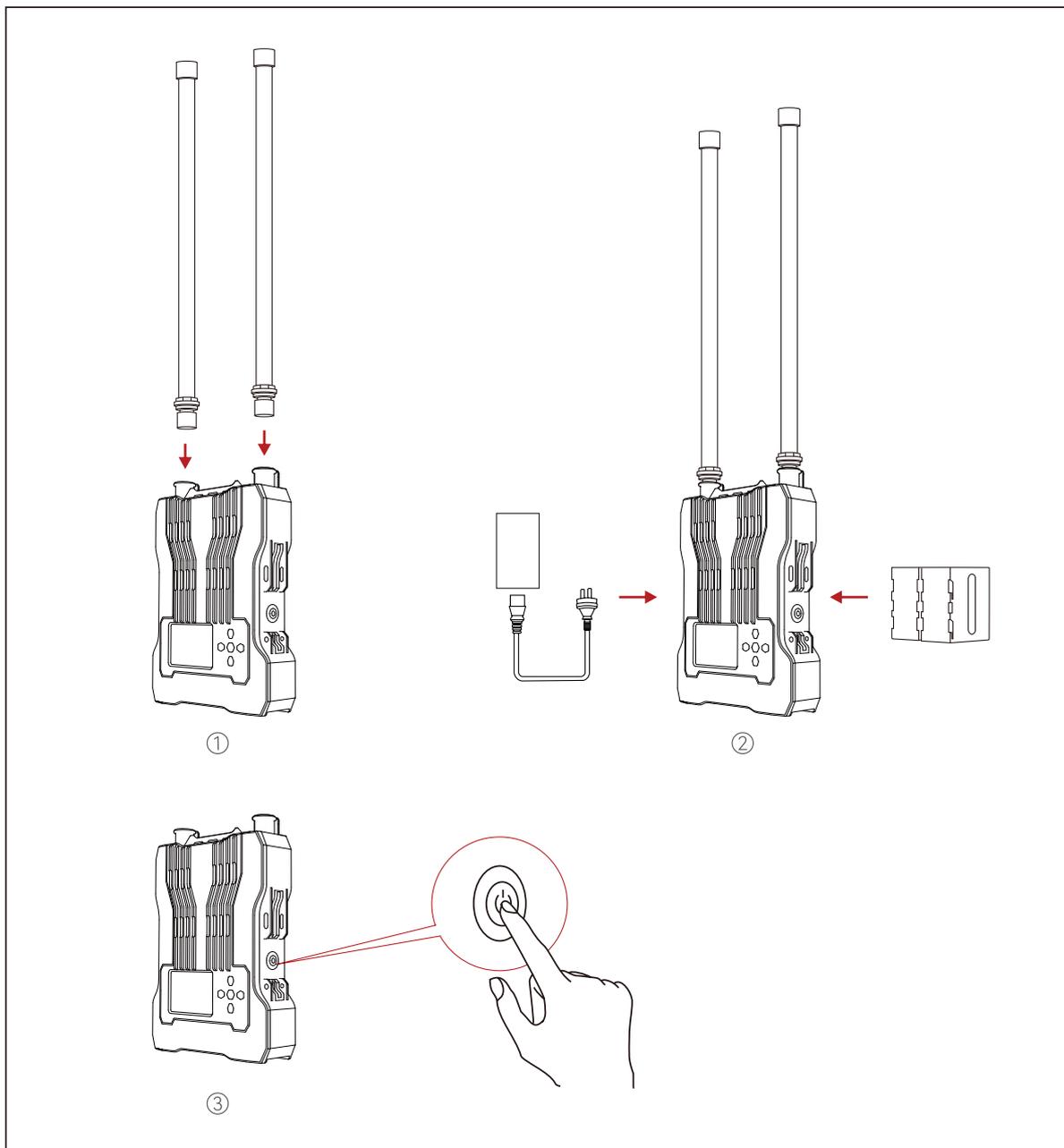
■ 8個のベルトパック、片耳ヘッドセット

① RU51ワイヤレスインターカムシステムRRU.....	x1
② エレクトレットマイクENC片耳ヘッドセット (HS02)	x8
③ BP51ワイヤレスENCインターカムベルトパック	x8
④ ベルトパックバッテリー充電ベース(CB01).....	x1
⑤ 外部ファイバーガラスアンテナ (AT01).....	x2
⑥ BP51用ベルトパックバッテリー(BTY01).....	x16
⑦ 4ピンXLRアダプター(ADAP02)	x1
⑧ ネックストラップ	x8
⑨ POEアダプター (ADAP01).....	x1
⑩ 3/8取付ネジ (MS01).....	x1
⑪ RU51用カニクランプ (CC01).....	x1
⑫ RJ45 対 デュアルXLR変換ケーブル(CA01).....	x1
⑬ ハードシェルキャリングケース.....	x1
⑭ RJ45 対 XLR変換ケーブル.....	x1
⑮ AC電源ケーブル	x2
⑯ USB-A対USB-C変換ケーブル.....	x1
⑰ ユーザーマニュアル.....	x1
⑱ 同梱物リストカード、保証カード、安全ガイドライン.....	x1

■ 4個のベルトパック、片耳ヘッドセット

① RU51ワイヤレスインターカムシステムRRU.....	x1
② エレクトレットマイクENC片耳ヘッドセット (HS02)	x4
③ BP51ワイヤレスENCインターカムベルトパック	x4
④ ベルトパックバッテリー充電ベース(CB01).....	x1
⑤ 外部ファイバーガラスアンテナ (AT01).....	x2
⑥ BP51用ベルトパックバッテリー(BTY01).....	x8
⑦ 4ピンXLRアダプター(ADAP02)	x1
⑧ ネックストラップ.....	x4
⑨ POEアダプター (ADAP01).....	x1
⑩ 3/8取付ネジ (MS01).....	x1
⑪ RU51用カニクランプ (CC01).....	x1
⑫ RJ45 対 デュアルXLR変換ケーブル(CA01).....	x1
⑬ ハードシェルキャリングケース.....	x1
⑭ RJ45 対 XLR変換ケーブル.....	x1
⑮ AC電源ケーブル	x2
⑯ USB-A対USB-C変換ケーブル.....	x1
⑰ ユーザーマニュアル.....	x1
⑱ 同梱物リストカード、保証カード、安全ガイドライン.....	x1

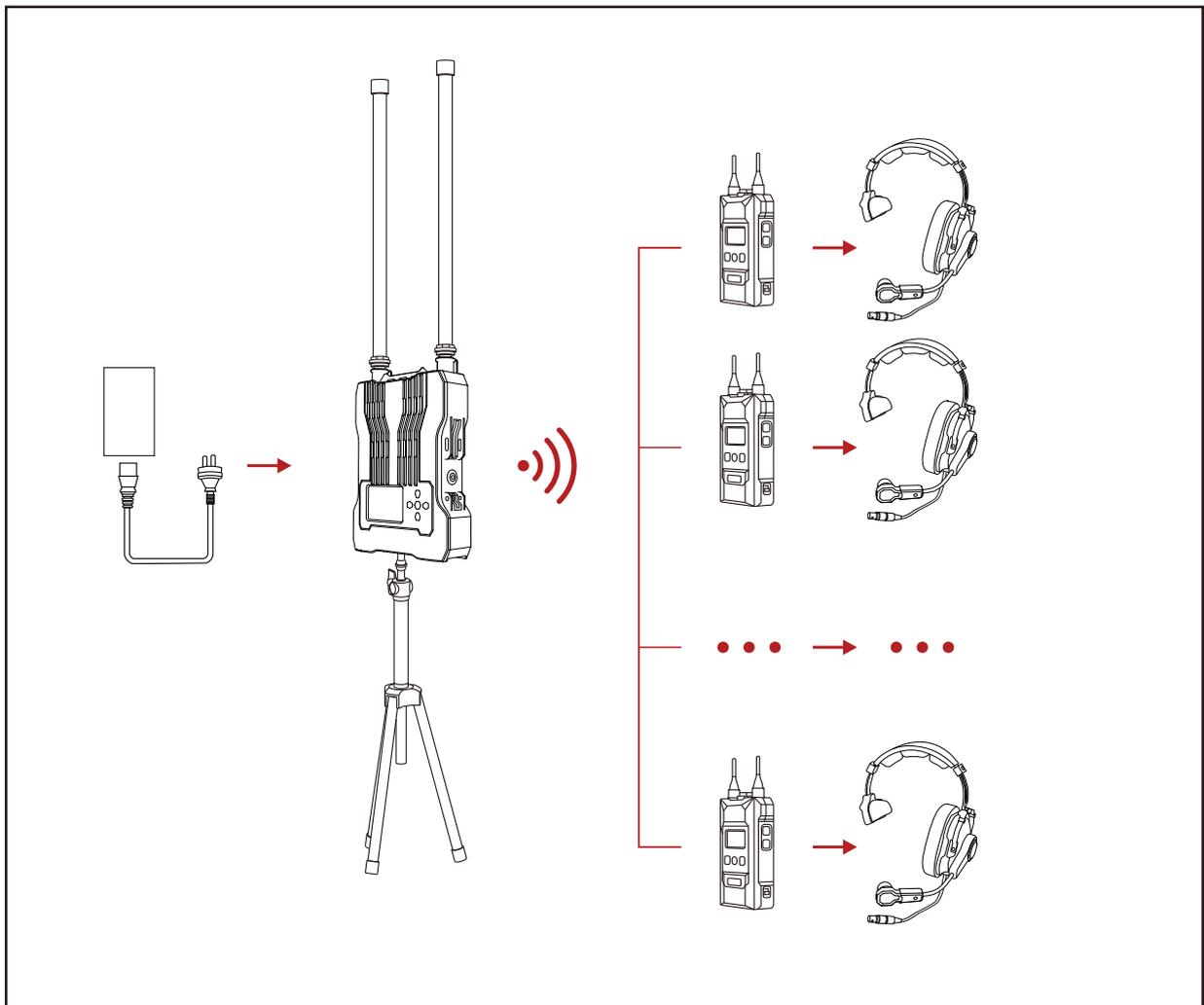
2.1 ベースステーション



■ ベースステーションの取り付け方

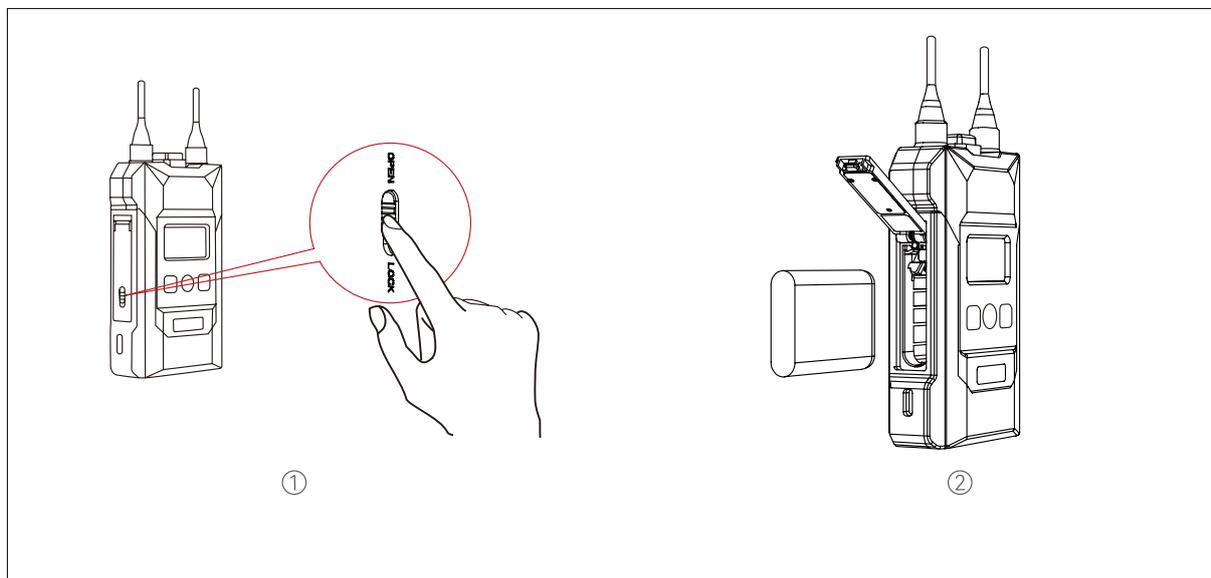
1. 上図のようにアンテナを取り付けます。
2. 電源アダプターにベースステーションを接続するか、電源用NP-Fバッテリーを取り付けます。
3. 電源ボタンを押してベースステーションの電源を入れます。

製品の取り付け



注意：ベースステーションは 1.7m の高さに設置することを推奨します。

2.2 ベルトパック



■ ベルトパックの取り付け方

1. 上図のように、バッテリー収納部を開いてバッテリーを挿入します。
2. 電源スイッチを切り替えて、ベルトパックの電源をオンにします。
3. ベルトパックの状態が **LOST** から **TALK** に変化すると、通話が可能になります。ベルトパック上部の **TALK** ボタンを押すと、ミュートモードになります。この場合、他のベルトパックユーザーの声は聞こえますが、話しかけることはできません。もう一度ボタンを押してミュート機能をオフにすると、話しかけることができるようになります。
4. ベルトパックは、3.5mm と 0B10 の 2 種類のヘッドセットインターフェイスに対応しています。需要に応じてインターフェイスを選択できます。
5. 4 線式または 2 線式インターフェイスを通じて他のインターカムシステムが接続されている場合、ベースステーションメニューに進んで入出力ゲインを調整すると、インターカムシステム全体のゲインのバランスを取ることができます。
6. 長期間保管した後ではバッテリーがスリープモードに切り替わっているため、最初の 3 回の使用では、ベルトパックを満充電してから完全に放電することを推奨します。

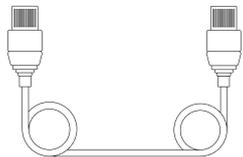
■ 修理

誤った操作などの理由でベルトパックに割り当てた番号がなくなってしまう場合があります。この場合、USB-A 対 USB-C 変換ケーブルを使用してベースステーションにベルトパックを接続し、ベルトパックで **Pair** を選択し、利用可能な番号を選択して、ペアリングを確定してください。

すると、ベースステーションとベルトパックの表示画面に「**Pairing...**」と表示されます。画面に「**Pairing Successful**」と表示されるまで待ち、ベースステーションとベルトパックからケーブルを外します。

2.3 カスケード接続

1. ネットワークケーブルを使用して2台のベースステーションをカスケード接続すると、ベルトパックユーザーの人数を16人まで拡張することができます。ネットワークケーブルは、568B基準に従って配線されたRJ45コネクタ付きの標準型Cat5eケーブルでなければなりません。カスケード接続用ネットワークケーブルの最大長さは300メートルですが、POEケーブルは100メートル以下でなければなりません。

標準ネットワークケーブル	カテゴリ	最大長さ
	CAT5e CAT6e	984 フィート (300 メートル)

2. Hollyvox G51ベースステーションに接続する2種類の方法：4線式カスケード接続とIPカスケード接続。2台のベースステーションを接続するには、4線式アナログ信号カスケード接続を使用します。3台以上のベースステーションを接続する場合は、推奨されるIPデジタル信号カスケード接続を使用してください。

A: IPカスケード接続

ベースステーションは、マスターデバイスとして設定する必要があります。カスケードシステム内のグループA、B、Cのベルトパックユーザーが、相互に通信できます。

B: 4線式カスケード接続

両方のベースステーションを、マスターデバイスとして設定する必要があります。カスケードシステム内のグループA、B、Cのベルトパックユーザーは、相互に通信できません。

3. POEアダプターを使用してマスターデバイスに電源を供給する場合、ベースステーションの電源供給インターフェイスにPOEアダプターを接続する必要があります。次に、ネットワークケーブルを使用して、マスターデバイスのPOEインターフェイスをリモートデバイスの電源供給インターフェイスに接続すると、バッテリーを使用せずにリモートデバイスの電源を入れることができます。電源としてNP-Fバッテリーも使用できます。

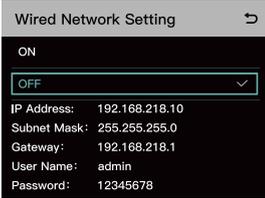
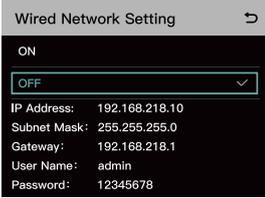
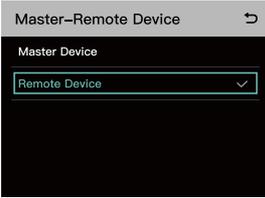
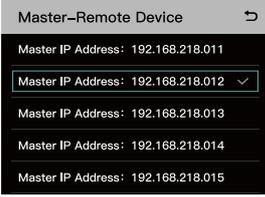
製品の取り付け

M&R 設定

2 台のベースステーションの間にネットワークケーブルを接続してから、メニューインターフェイスに進み、ベースステーションを、マスターデバイスまたはリモートデバイスとして設定します。一方のベースステーションをマスターデバイスとして設定し、もう一方のベースステーションをリモートデバイスとして設定する必要があります。

Wired Network Setting で、両方のベースステーションを OFF に設定する必要があります。

【Hollyvox G51】

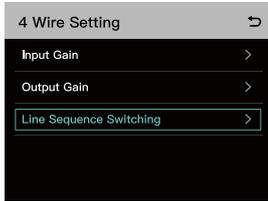
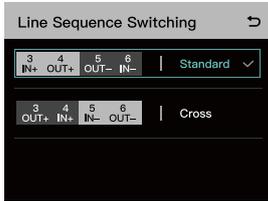
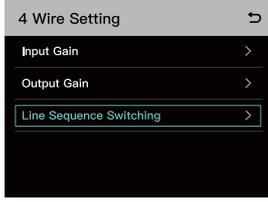
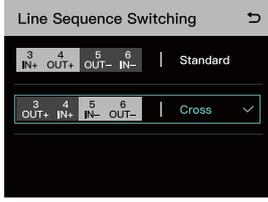
<p>ベースステーション①</p>	<p>Network を選択して Wired Network Settings にアクセスしてから、OFF にします。</p>	<p>Master-Remote Device を選択して、ベースステーションを、マスターデバイスとして設定します。</p>
<p>ネットワーク設定</p>		
<p>ベースステーション②</p>	<p>Network を選択して Wired Network Settings にアクセスしてから、OFF にします。</p>	<p>Master-Remote Device を選択して、ベースステーションを、リモートデバイスとして設定します。</p>
<p>ネットワーク設定</p>		
	<p>上 / 下ボタンで、対応する Master IP Address を選択し、確定します。</p>	

製品の取り付け

■ 4 線式設定

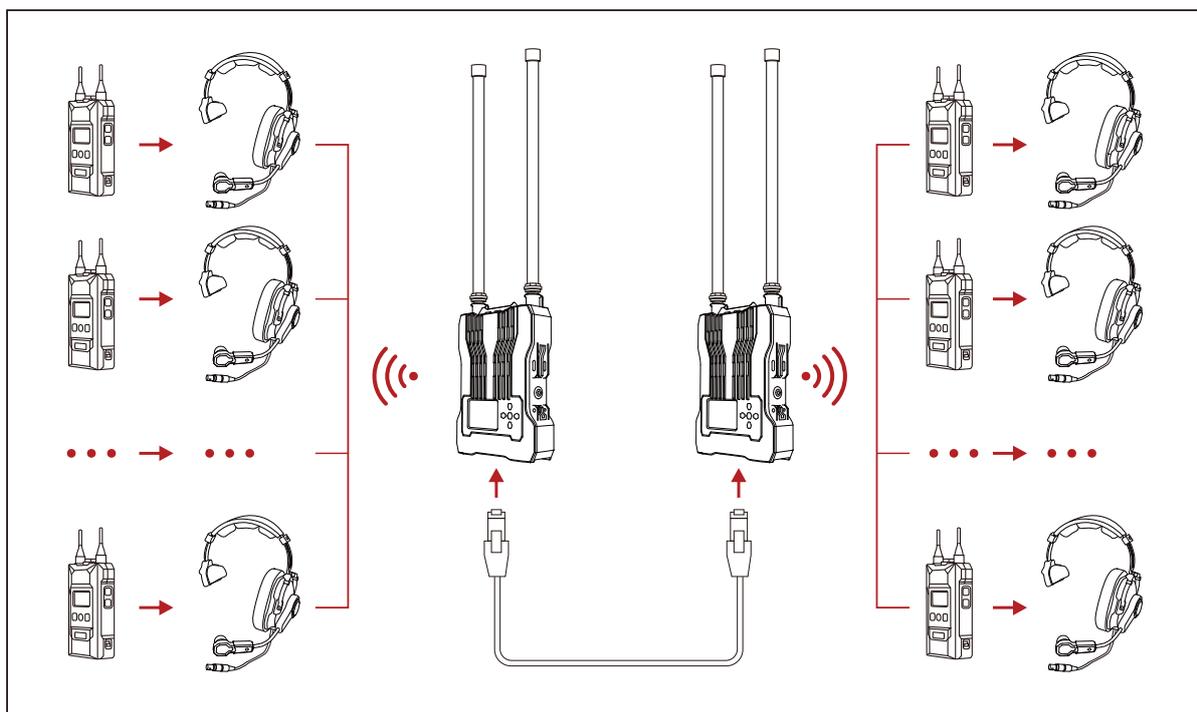
ネットワークケーブルで2台のベースステーションの間を接続した後、4 Wire Settingインターフェイスに進み、Line Sequence Switchingを選択し、一方のベースステーションをStandardに設定し、もう一方のベースステーションをCrossに設定します。

【Hollyvox G51】

ベースステーション①	4 Wire Setting に進み、Line Sequence Switching を選択します	Standard を選択します
4 線式設定		
ベースステーション②	4 Wire Setting に進み、Line Sequence Switching を選択します	Cross を選択します
4 線式設定		

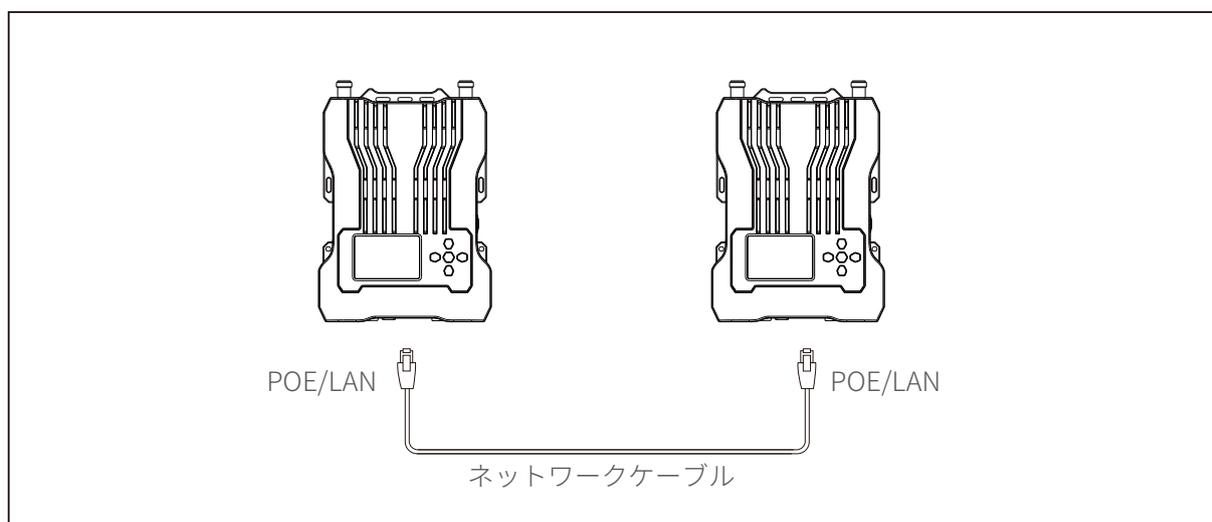
製品の取り付け

■ カスケード接続図



■ 2 システムのカスケード接続

下図に示したように、2 台のベースステーションをカスケード接続することができます。ネットワークケーブルを使用して、ベースステーションの POE インターフェイスを、別のベースステーションの電源供給インターフェイスに接続します。POE アダプターを使用してマスターデバイスに電源を供給する場合、ベースステーションの電源供給インターフェイスに POE アダプターを接続する必要があります。次に、ネットワークケーブルを使用して、マスターデバイスの POE インターフェイスをリモートデバイスの電源供給インターフェイスに接続すると、バッテリーを使用せずにリモートデバイスの電源を入れることができます。電源として NP-F バッテリーも使用できます。

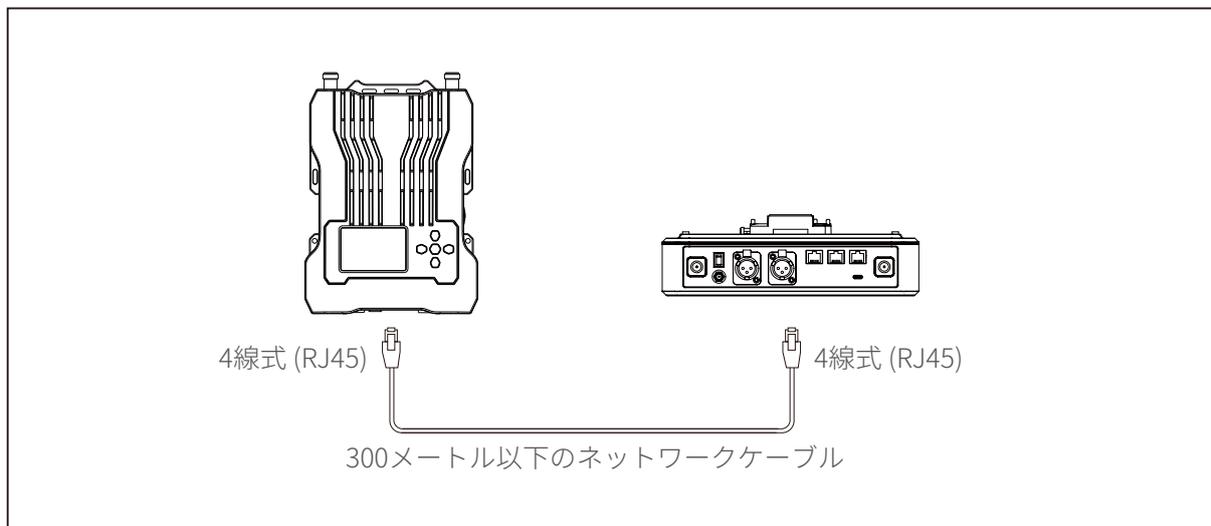


注意：各ベースステーションを 1.5 メートル以上離して配置し、一度に 1 台ずつ電源を入れる必要があります。

製品の取り付け

Solidcom C1 (pro) Hub とのカスケード接続

ネットワークケーブルを使用して、ベースステーションの4線式インターフェイスとSolidcom C1 (pro) Hubの4線式インターフェイスを接続します。カスケード接続の場合、ネットワークケーブルの最大長さは300メートルです。



製品の取り付け

複数のシステムのカスケード接続

3 台の Hollyvox G51 システム

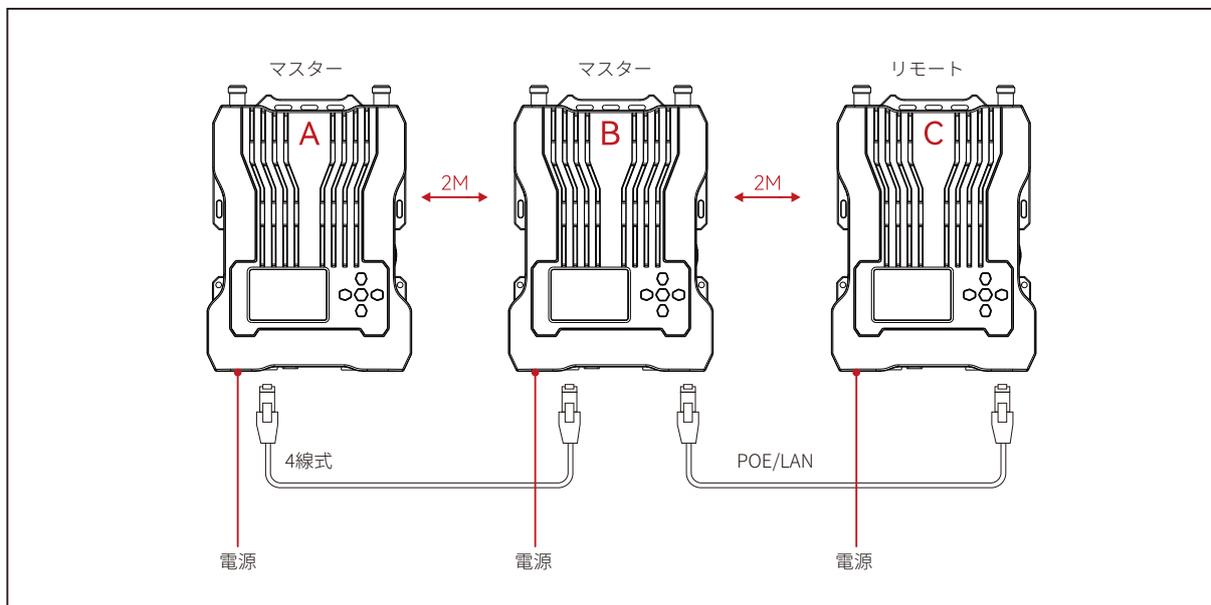


図 1

注意：各ベースステーションは、互いに 2m 以上離して配置する必要があります。

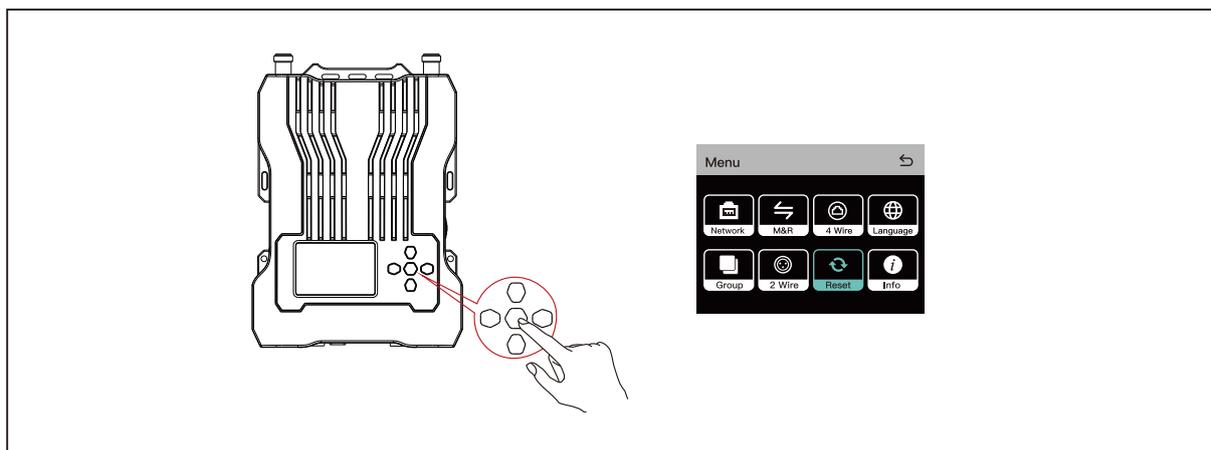


図 2

1. 3 システムのカスケード接続では、ベースステーションのメニュー / 確定ボタンを押しながらメニューインターフェイスに進み、**Reset** を選択します。(図 2 を参照)
2. ネットワークケーブルを使用して、ベースステーション B とベースステーション A の 4 線式インターフェイスを接続します。(図 1 を参照)

製品の取り付け

3 台の Hollyvox G51 システム

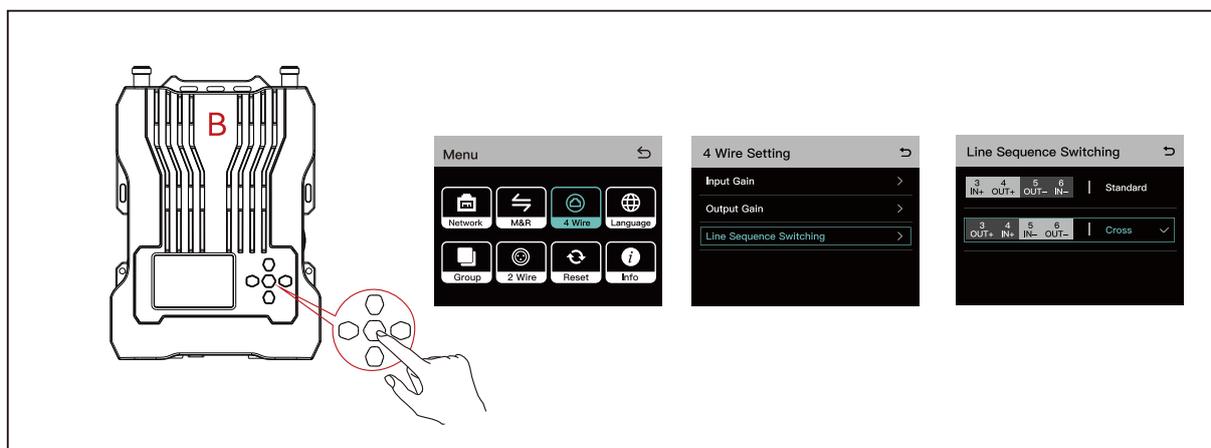


図 3

3. ベースステーション B のメニューインターフェイスに進み、4 Wire > Line Sequence Switching > Cross を選択します。(図 3 を参照)
4. ネットワークケーブルを使用して、ベースステーション C とベースステーション B の POE/LAN インターフェイスを接続します。(図 1 を参照)

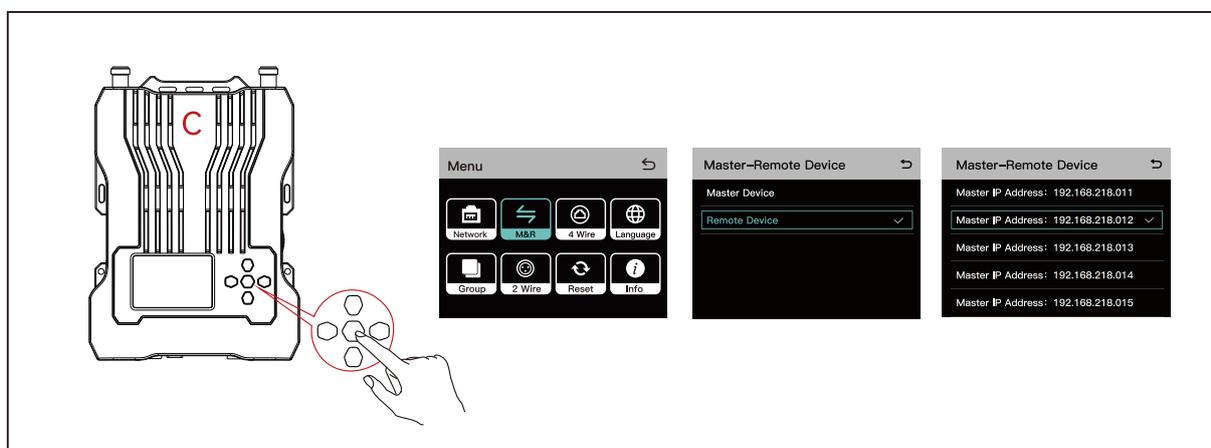


図 4

5. ベースステーション C のメニューインターフェイスに進み、Master-Remote Device > Remote Device を選択し、メニュー / 確定ボタンを押して、対応するマスターデバイスの IP アドレスを選択します。(図 4 を参照)

製品の取り付け

4 台の Hollyvox G51 システム

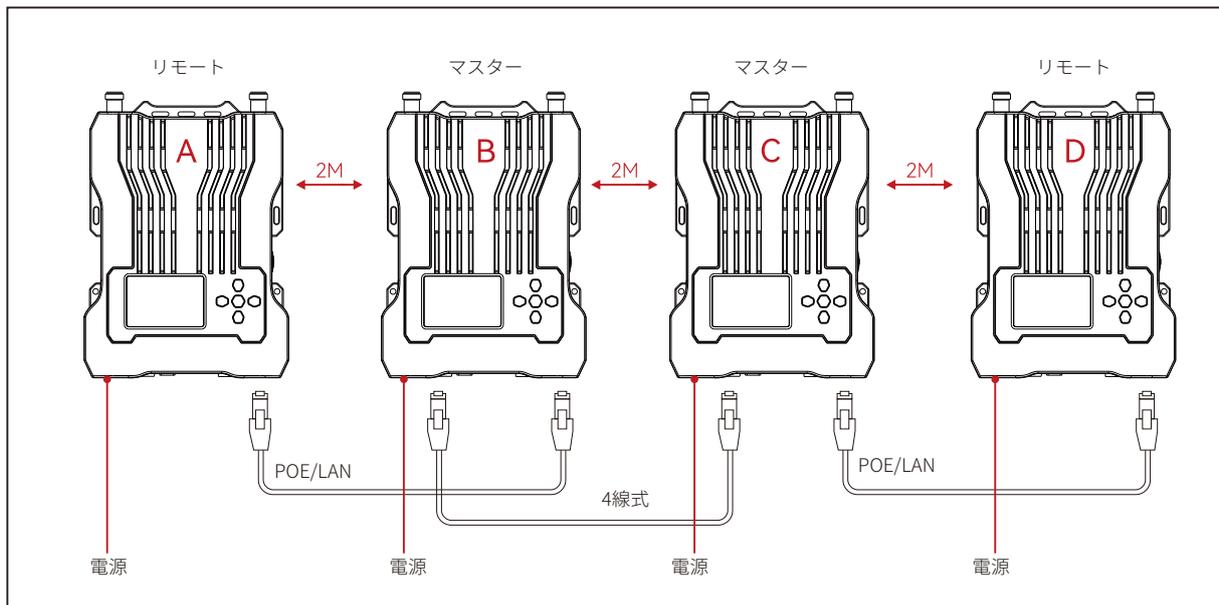


図 1

注意：各ベースステーションは、互いに 2m 以上離して配置する必要があります。

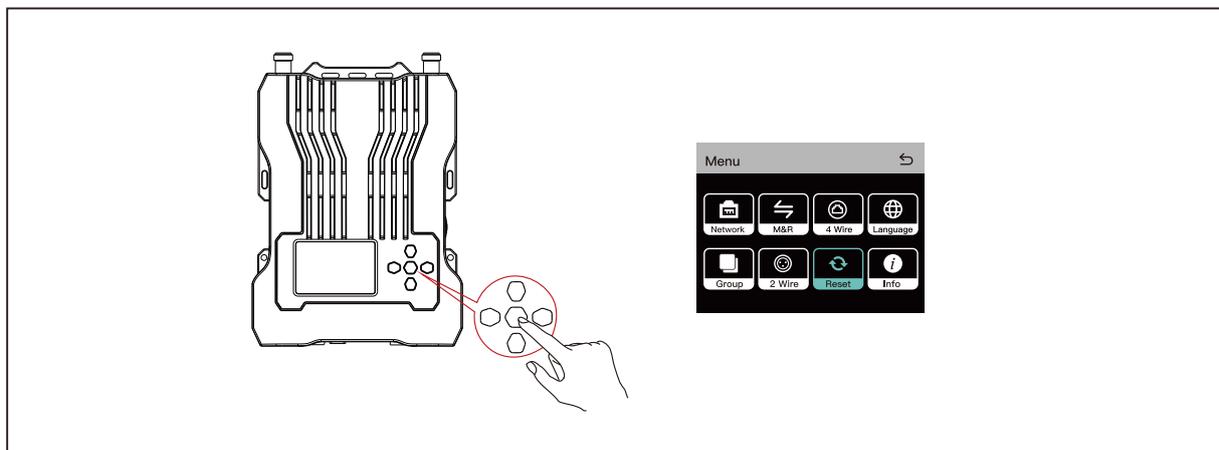


図 2

1. 4 システムのカスケード接続では、ベースステーションのメニュー / 確定ボタンを押しながらかメニューインターフェイスに進み、**Reset** を選択します。(図 2 を参照)
2. ネットワークケーブルを使用して、ベースステーション B とベースステーション A の POE/LAN インターフェイスを接続します。(図 1 を参照)

製品の取り付け

4 台の Hollyvox G51 システム

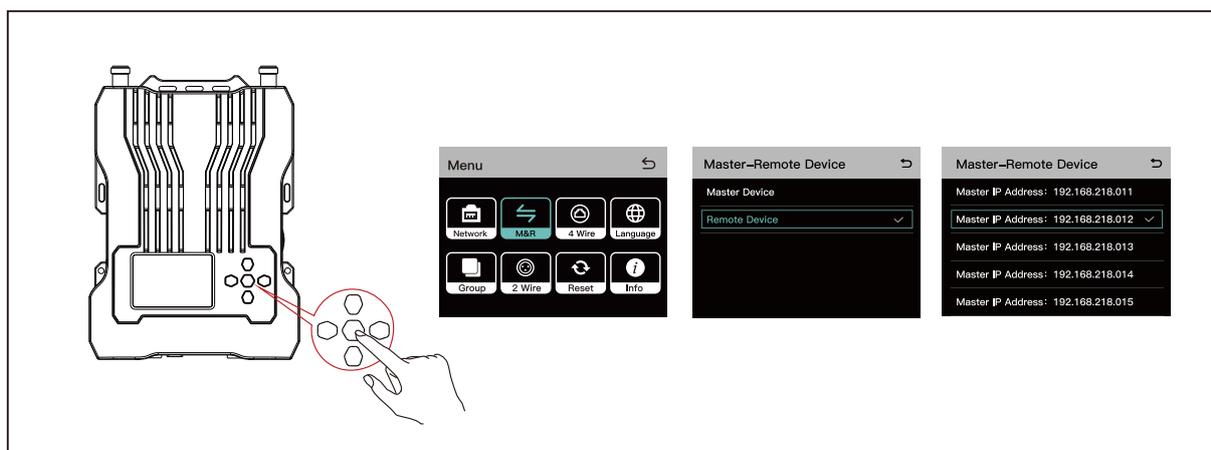


図 3

3. ベースステーション A のメニューインターフェイスに進み、Master-Remote Device > Remote Device を選択し、メニュー / 確定ボタンを押して、対応するマスターデバイスの IP アドレスを選択します。(図 3 を参照)
4. ネットワークケーブルを使用して、ベースステーション C とベースステーション B の 4 線式インターフェイスを接続します。(図 1 を参照)

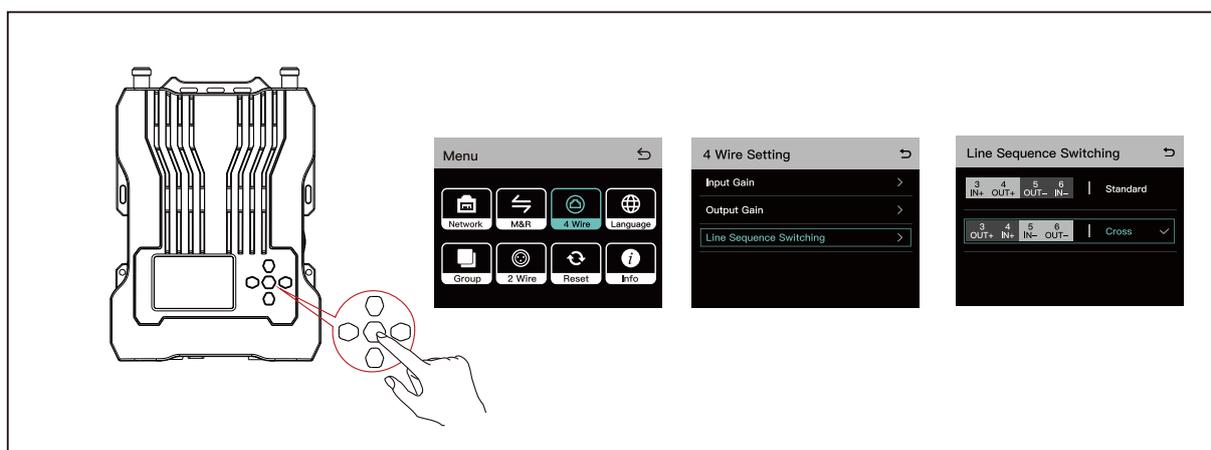
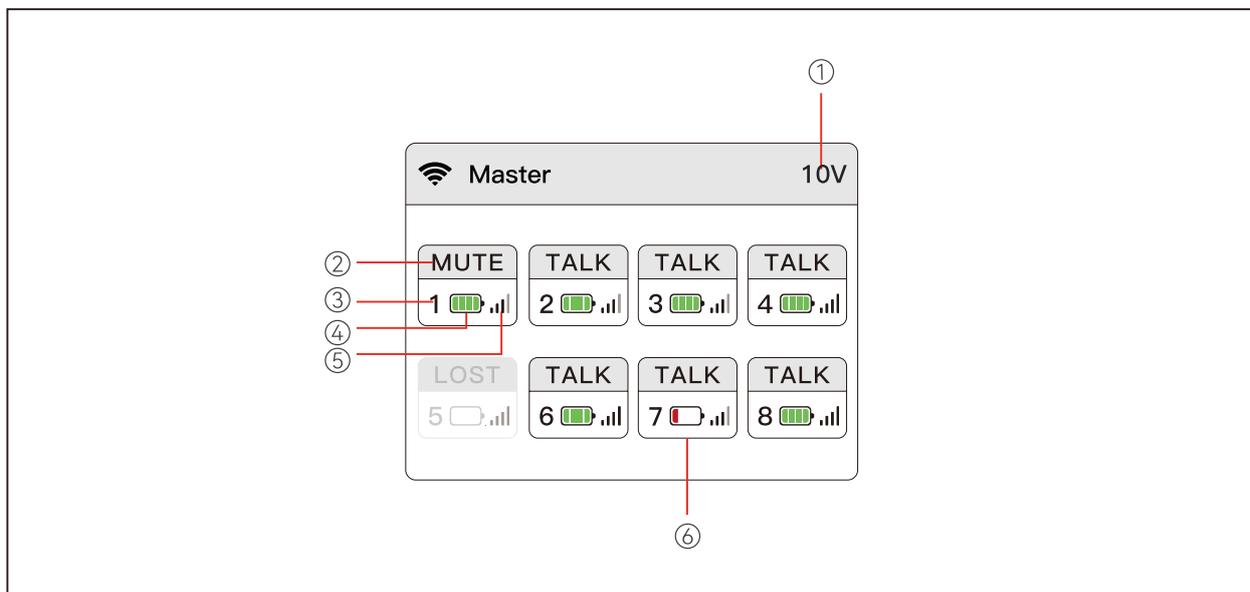


図 4

5. ベースステーション C のメニューインターフェイスに進み、4 Wire > Line Sequence Switching > Cross を選択します。(図 4 を参照)
6. ネットワークケーブルを使用して、ベースステーション D とベースステーション C の POE/LAN インターフェイスを接続します。(図 1 を参照)
7. ベースステーション D のメニューインターフェイスに進み、Master-Remote Device > Remote Device を選択し、メニュー / 確定ボタンを押して、対応するマスターデバイスの IP アドレスを選択します。(図 3 を参照)

ベースステーションの操作

3.1 ディスプレイインターフェイス



① ベースステーションのバッテリー電圧

② ベルトパックの状態

TALK：ベルトパックのユーザーは、他のベルトパックユーザーに話しかけたり、相手の声を聞くことができます。

MUTE：ベルトパックユーザーがミュートされ、他のベルトパックユーザーの声しか聞こえません。

LOST：ベルトパックユーザーとベースステーションの接続が切れています。

LINK：ベルトパックユーザーとベースステーションが接続されています。

③ ベルトパックの番号

④ ベルトパックのバッテリー残量

⑤ ベルトパックの信号強度

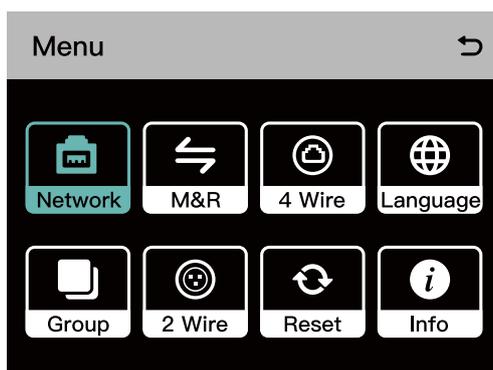
⑥ ベルトパックのバッテリー残量低下表示

ベースステーションの操作

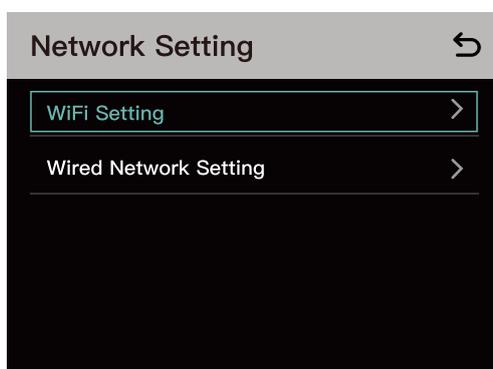
3.2 操作方法

■ ベースステーション

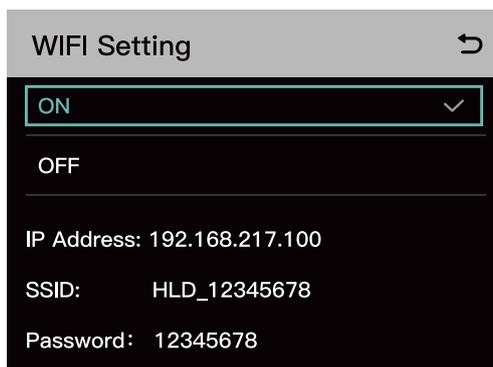
ベースステーションのメニュー / 確定ボタンを約3秒間長押しすると、メニューインターフェイスに移動します。



3.2.1 ネットワーク設定



① **Wi-Fi Setting**を選択して、Wi-Fi をオンまたはオフにします。オンにすると、IPアドレス、SSID、パスワードが表示されます。



ベースステーションの操作

② Wired Network Settingを選択して、DHCPをオンまたはオフにします。IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、Webページへのログイン用のユーザー名とパスワードも表示できます。

Wired Network Setting

ON

OFF

IP Address: 192.168.218.10

Subnet Mask: 255.255.255.0

Gateway: 192.168.218.1

User Name: admin

Password: 12345678

3.2.2 マスターとリモート

① Master Deviceを選択して、ベースステーションを、マスターデバイスとして設定します。

Master-Remote Device

Master Device

Remote Device

② Remote Deviceを選択してベースステーションをリモートデバイスに設定すると、利用可能なマスターデバイスのIPアドレスリストが表示されます。接続先のマスターデバイスに対応するIPアドレスを選択します。

- ベースステーションを1台で使用する場合は、マスターデバイスとして設定する必要があります。
- 2台以上のベースステーションを使用する場合、一方のベースステーションをマスターデバイスとして設定し、もう一方のベースステーションをリモートデバイスとして設定する必要があります。

Master-Remote Device

Master Device

Remote Device

Master-Remote Device

Master IP Address: 192.168.218.011

Master IP Address: 192.168.218.012

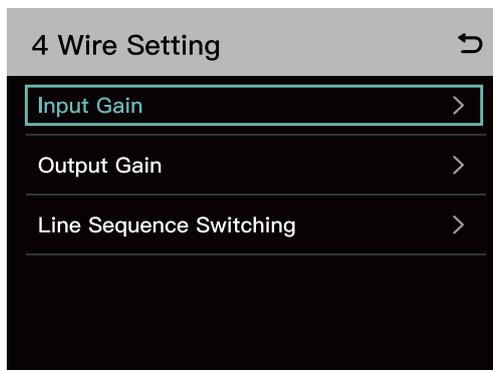
Master IP Address: 192.168.218.013

Master IP Address: 192.168.218.014

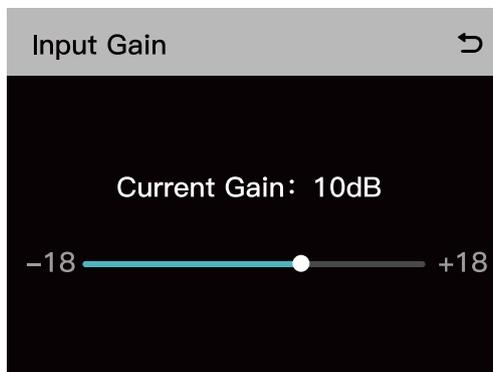
Master IP Address: 192.168.218.015

ベースステーションの操作

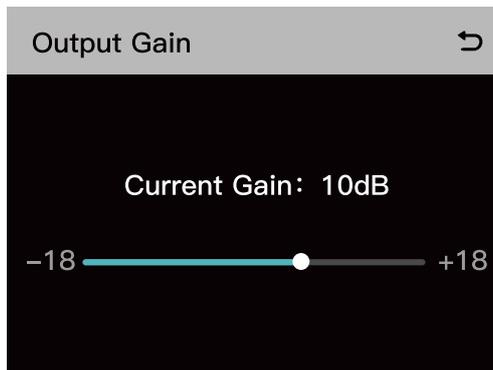
3.2.3 4線式設定



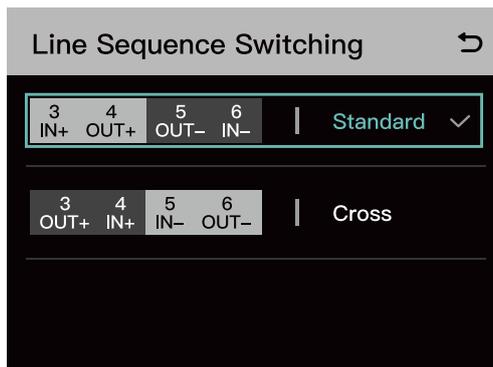
① Input Gainを選択して入力ゲインを設定します。



② Output Gainを選択して出力ゲインを設定します。

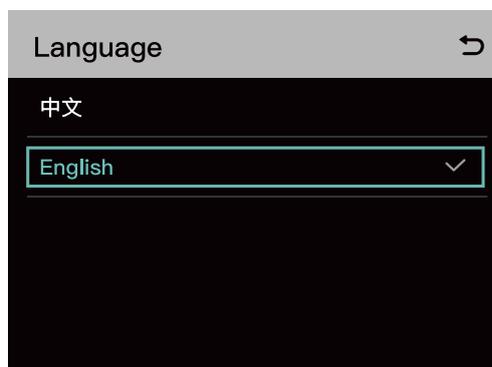


③ Line Sequence Switchingを選択して、StandardモードとCrossモードを切り替えます。

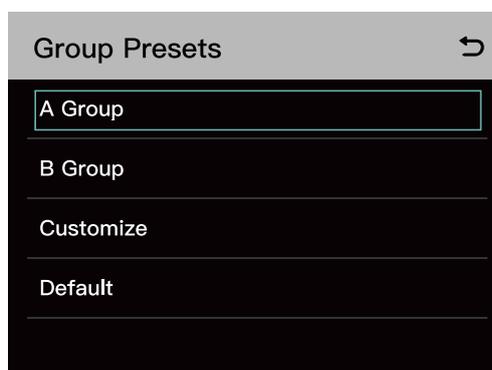


ベースステーションの操作

3.2.4 言語



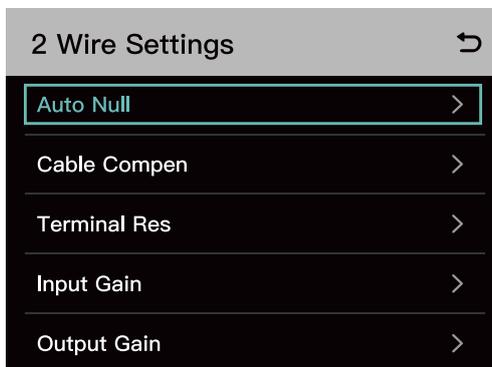
3.2.5 グループプリセット



- ① 1つのグループ：すべてのベルトパックと2線式および4線式オーディオシステムが、グループAに属しています。この場合、ベルトパックで、グループAインジケータライトが点灯します。
- ② 2つのグループ：1～4番のベルトパックと2線式および4線式オーディオシステムがグループAに属し、5～8番のベルトパックがグループBに属しています。この場合、ベルトパックで、対応するグループインジケータライトが点灯します。
- ③ グループ化のカスタマイズ：ナビゲーションボタンと確定ボタンを使用すると、ベルトパックと2線式および4線式オーディオシステムを、別のグループに割り当てることができます。この場合、ベルトパックで、対応するグループインジケータライトが点灯します。
- ④ デフォルトのグループ化：すべてのベルトパックと2線式および4線式オーディオシステムが、グループAに属しています。この場合、ベルトパックで、グループAインジケータライトが点灯します。

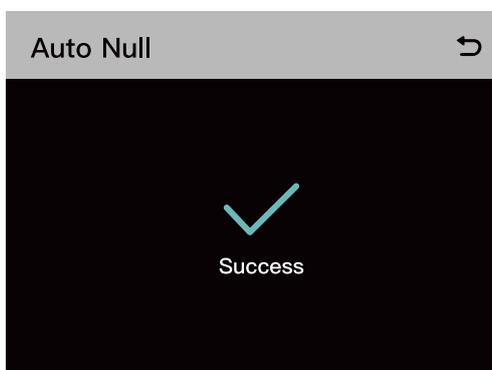
ベースステーションの操作

3.2.6 2線式設定



① 自動ヌル

ベースステーションを2線式デバイスに接続します。2線式デバイスの電源を入れ、2線式リンクに他のオーディオが伝送されないように、マイクをオフにするか接続を外します。さもないと、自動ヌル設定の精度に影響が出る可能性があります。**Auto Null**を選択し**Confirm**を押すと、ベースステーションが2線式デバイスの自動ヌル設定を実行します。



② ケーブル補正

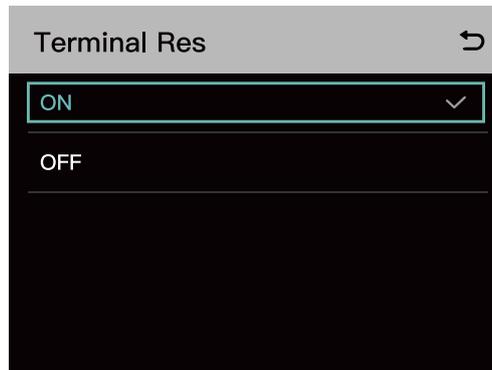
Cable Compensationを選択して2線式ケーブルの長さを確認し、ケーブル長に相当する補正オプションを選択します。



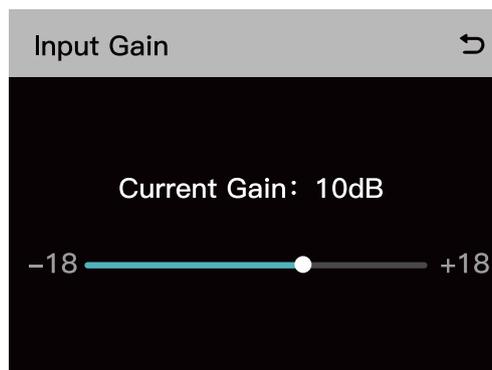
ベースステーションの操作

③ 終端抵抗

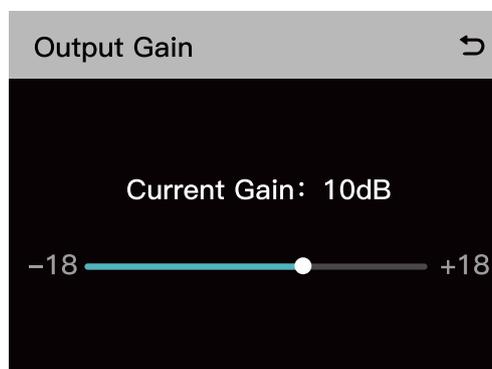
Terminal Res を選択して、2 線式インターフェイスを介して接続された 2 線式デバイスに終端抵抗があるかどうかを確認します。ある場合は OFF を選択します。ない場合は ON を選択します。



④ Input Gain を選択して、適切なゲインレベルを設定します。



⑤ Output Gain を選択して、適切なゲインレベルを設定します。



ベースステーションの操作

3.2.7 リセット

Resetを選択すると、ベースステーションの設定情報が、デフォルト設定に復元されます。

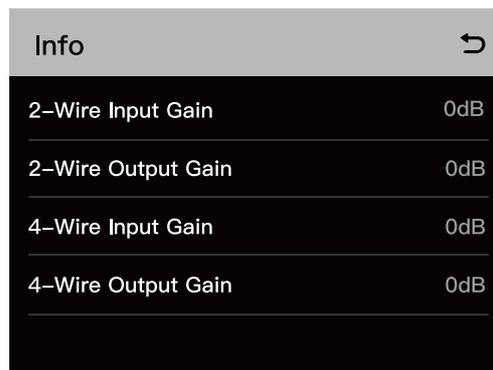


3.2.8 情報



A screenshot of the "Info" screen in the application. The title bar says "Info" with a back arrow icon. The screen displays a list of system information items with their current values.

Item	Value
Version Info	V1.0.0.1 H002
Master & Remote	Master
Auto Null	Failure
Cable Compensation	50m
Terminal Resistance	OFF

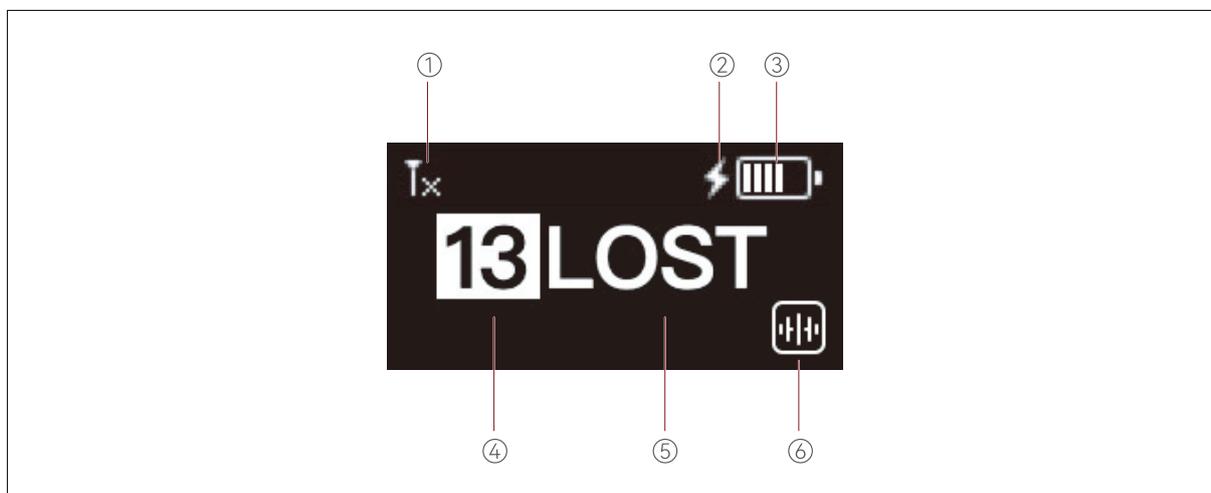


A screenshot of the "Info" screen in the application, showing gain settings. The title bar says "Info" with a back arrow icon. The screen displays a list of gain settings, all currently set to 0dB.

Item	Value
2-Wire Input Gain	0dB
2-Wire Output Gain	0dB
4-Wire Input Gain	0dB
4-Wire Output Gain	0dB

ベルトパックの操作

4.1 ディスプレイインターフェイス



- ① ベルトパックの信号強度
- ② 充電中のベルトパック
- ③ ベルトパックのバッテリー残量
- ④ ベルトパックの番号
- ⑤ ベルトパックの状態

TALK：ベルトパックのユーザーは、他のベルトパックユーザーに話しかけたり、相手の声を聞くことができます。

MUTE：ベルトパックユーザーがミュートされ、他のベルトパックユーザーの声しか聞こえません。

LOST：ベルトパックユーザーとベースステーションの接続が切れています。

LINK：ベルトパックユーザーとベースステーションが接続されています。

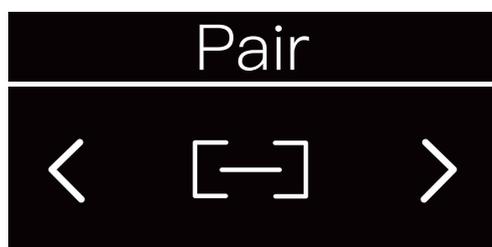
- ⑥ ノイズキャンセリングオープン時のアイコン

4.2 操作方法

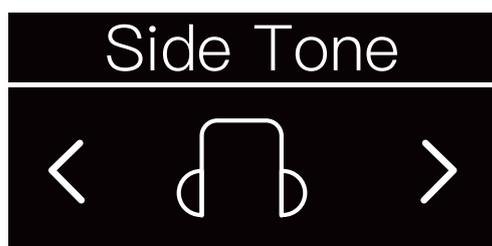
4.2.1 メニューの説明

ベルトパックの音量 (+) ボタンと音量 (-) ボタンを同時に 3 秒間長押しし、メニューに進みます。メニュー機能は以下のとおりです：

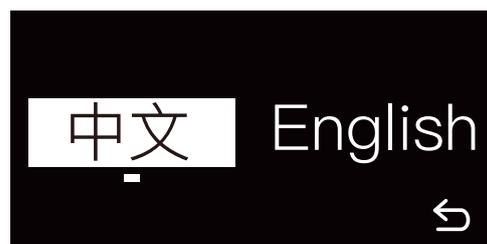
1. USB-A 対 USB-C 変換ケーブルを使用してベースステーションにベルトパックを接続し、**Pair** を選択して、1～8 から利用可能な番号を選択してペアリングを確定します。すると、ベースステーションとベルトパックの表示画面に「**Pairing...**」が表示されます。画面に「**Pairing Successful**」と表示されるまで待ち、ベースステーションとベルトパックからケーブルを外します。



2. サイドトーンの出力量を調整するには、**Side Tone** を選択します。レベル 0 に設定するとサイドトーン機能が無効になり、レベル 1 から 3 まで、段階的にサイドトーン出力音量が増加します。

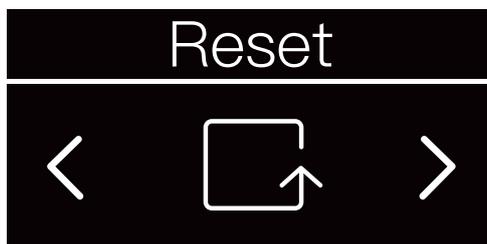


3. **Language** を選択し、表示言語を中国語と英語に切り替えます。

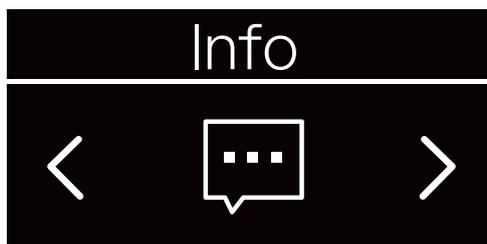


ベルトパックの操作

4. Reset を選択すると、ベルトパックの設定情報が、デフォルト設定に復元されます。



5. Info を選択して、ベルトパックに関する関連情報を確認します。

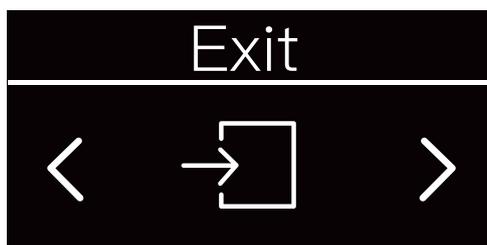


5.1 RSSI に、現在のワイヤレス信号強度が表示されます。

5.2 Version に、現在のソフトウェアバージョンが表示されます。



6. Exit を選択するとメニューに戻ります。



ベルトパックの操作

4.2.2 ベルトパックのグループ化インジケータライトの状態

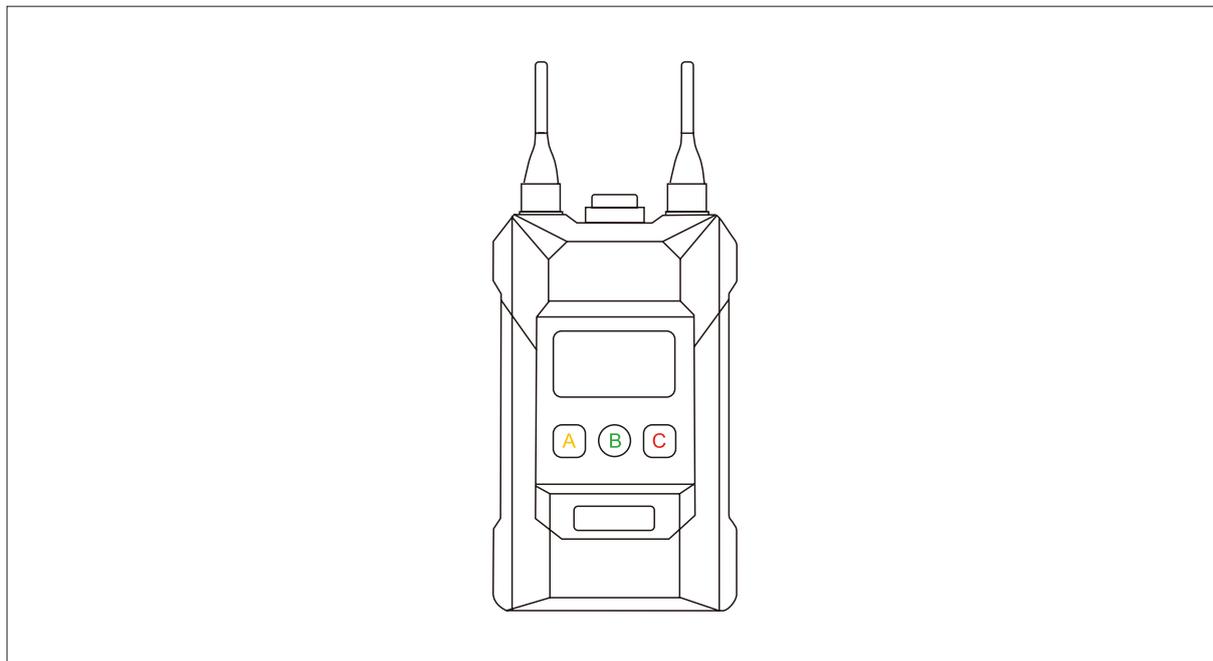
プッシュ・ツー・トークロジック					
番号	プリセットモード	機能	キーの色	ライトの状態	注意
1	Talk and Force Listen 送話および強制受話	操作しない：相手の声は聞こえますが、話しかけることはできません	緑	点灯	
		1 回押す：話すことが制御できます	オレンジ色	点灯	
		長押し：話すことが制御できます	オレンジ色	点灯	
2	Announce アナウンス	操作しない：相手の声は聞こえますが、話しかけることはできません	緑	点灯	マイクを起動し Announce を有効にすると、グループ内の他のすべてのベルトパックユーザーは聞くだけで、話すことはできません
		1 回または 2 回押す：この操作は無効です	緑	点灯	
		長押し：アナウンスが制御できます	オレンジ色	点灯	
3	Force Talk and Force Listen 強制送話および強制受話	操作しない：相手の声が聞こえ、話しかけることができます	オレンジ色	点灯	
		1 回または 2 回押す：この操作は無効です	オレンジ色	点灯	
		長押し：この操作は無効です	オレンジ色	点灯	
4	Talk and Listen 送話および受話	操作しない：相手の声が聞こえ、話しかけることができます	オレンジ色	点灯	デフォルト状態
		2 回押す：ベルトパックユーザーがグループに加入したり脱退できます。グループに加入すると、ベルトパックユーザーは相手の声が聞こえ、話しかけることができます。グループから脱退すると、ベルトパックユーザーは相手の声を聞くことも話しかけることもできません	白	点灯	2 回押すとグループから脱退し、インジケータライトが白で点灯します 2 回押すとグループに加入し、インジケータライトがオレンジ色で点灯します
		長押し：相手の声を聞いたり話しかけることが制御できます	オレンジ色	点灯	
5	Force Listen 強制受話	操作しない：相手の声は聞こえますが、話しかけることはできません	緑	点灯	
		1 回または 2 回押す：この操作は無効です	緑	点灯	
		長押し：この操作は無効です	緑	点灯	

ベルトパックの操作

6	Talk-only 送話のみ	操作しない：相手の声を聞いたり話しかけることはできません	無色	オフ	
		1回押す：話すことが制御できます	赤	点灯	
		長押し：話すことが制御できます	赤	点灯	
7	Listen-only 受話のみ	操作しない：相手の声を聞いたり話しかけることはできません	無色	オフ	
		1回押す：受話が制御できます	緑	点灯	
		長押し：受話が制御できます	緑	点灯	
8	Dual Talk and Listen デュアル送話および受話	操作しない：相手の声を聞いたり話しかけることはできません	無色	オフ	
		1回押す：受話が制御できます	緑	点灯	
		長押し：話すことが制御できます	赤	点灯	

操作モード	プリセットモード	シーンの説明
1回押しモード	Talk and Force Listen 送話および強制受話	グループ内のベルトパックユーザーが主に相手の声を聞き、時折話しかけます
	Talk-only 送話のみ	ベルトパックユーザーが一時的なグループへの送話を希望します
	Listen-only 受話のみ	ベルトパックユーザーが一時的なグループからの受話を希望します
	Dual Talk and Listen デュアル送話および受話	ベルトパックユーザーが一時的なグループ内での会話を希望します
2回押しモード (誤接触防止)	Talk and Listen 送話および受話	工場出荷時のデフォルトモードです。ベルトパックユーザーがグループに加入したり脱退できます
PTTモード	Announce アナウンス	アナウンスを有効にすると、グループ内の他のすべてのベルトパックユーザーは聞くだけで、話すことはできません
キーロックモード	Force Talk and Force Listen 強制送話および強制受話	ベルトパックユーザーは相手の声が聞こえ、話しかけることができます 新規ユーザーによる不意の誤操作で通信が中断しないように、すべての操作が無効になります
	Force Listen 強制受話	ベルトパックユーザーは相手の声は聞こえますが、話しかけることはできません 新規ユーザーによる不意の誤操作で通信が中断しないように、すべての操作が無効になります

ベルトパックの操作

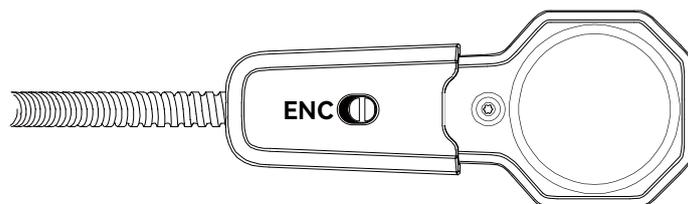
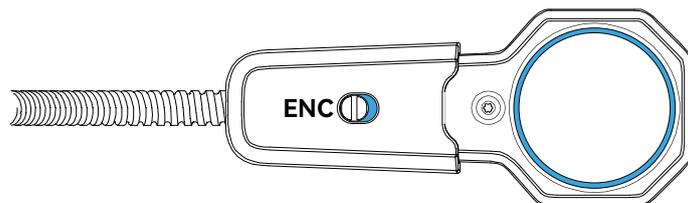


ライトの色	ベルトパックの受話と送話の状態
オフ	相手の声を聞くことも話しかけることもできません
白	相手の声を聞くことも話しかけることもできません
緑	相手の声を聞くことはできるが話しかけることはできません
赤	話しかけることはできるが相手の声を聞くことはできません
オレンジ色	相手の声を聞くことも話しかけることもできます

ベルトパックの操作

■ ヘッドセットの機能

1. ベルトパックヘッドセットのマイクブームにENCスイッチがあります。
2. スイッチを入れると、インジケータライトが青で点灯します。スイッチを切ると、インジケータライトが消灯します。



Web ページの設定

5.1 ベースステーションの設定

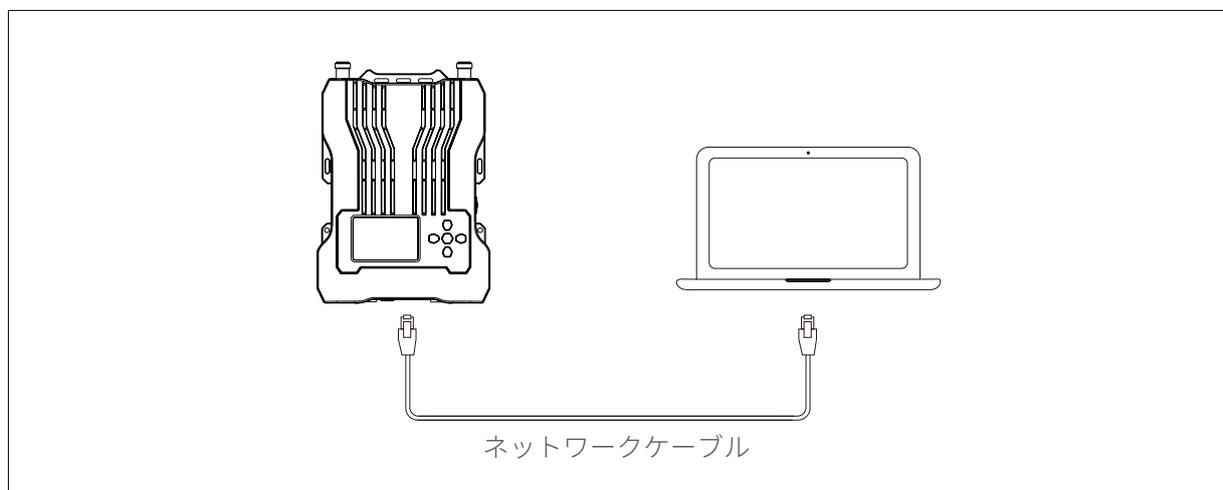
ベースステーションの電源を入れ、ネットワークケーブルを使用して、ベースステーションの POE または PWR インターフェイスとコンピュータのネットワークポートを介して、ベースステーションをコンピュータに接続します。コンピュータでブラウザを開き、次のアドレスを入力します (ベースステーションのネットワークメニューで、対応するアドレスを確認してください)。

マスターデバイス：192.168.218.10

リモートデバイス：192.168.218.11

Web ページにログインすると、ベースステーションをアップグレードしたり、ベルトパックをグループ化したり、ベルトパックを設定することができます。

5.1.1 ネットワークケーブルで、ベースステーションとコンピュータを接続します



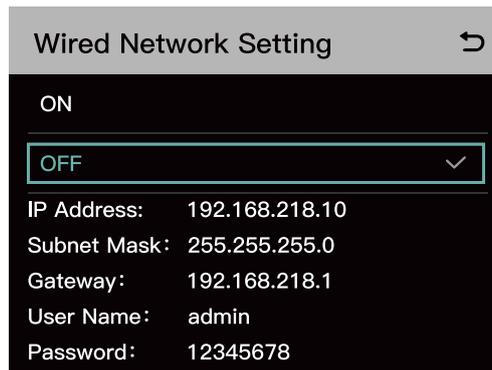
ベースステーションの電源を入れ、ネットワークケーブルを使用して、ベースステーションの POE または PWR インターフェイスとコンピュータのネットワークポートを介して、ベースステーションをコンピュータに接続します。

Web ページの設定

5.1.2 Web ページにログインする

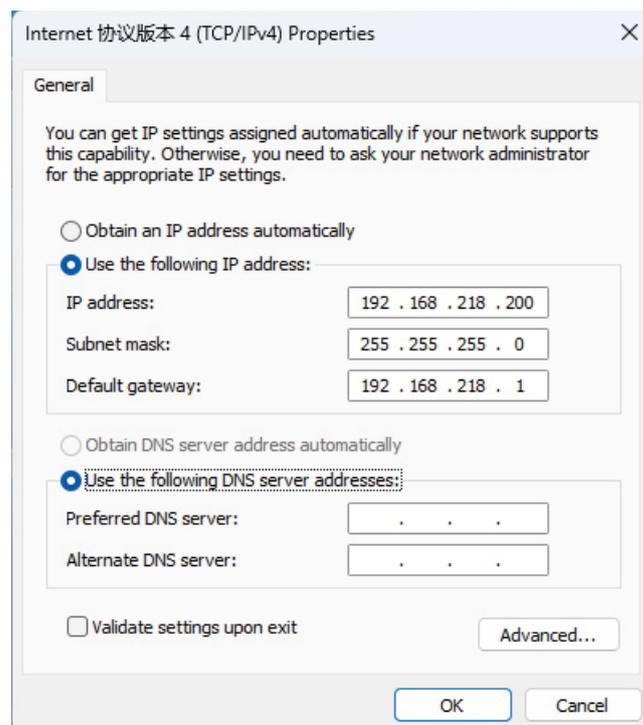
① ベースステーションの IP アドレスとパスワードを確認します

ベースステーションの IP アドレスとログインパスワードの表示手順：ベースステーションのメニューボタンを長押しし、**Network** を選択し、**Wired Network Settings** を選択すると、ベースステーションの IP アドレス、ユーザー名、パスワードが表示されます。



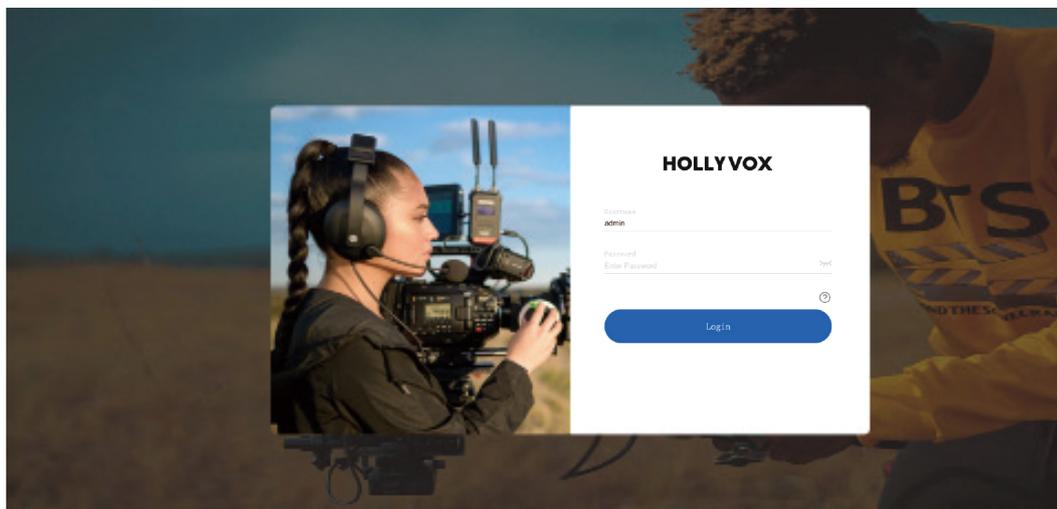
② ベースステーションとコンピュータに、同じネットワークセグメントを設定します

ネットワークケーブルを使用して、ベースステーションの RJ45 ネットワークポートとコンピュータのネットワークポートを介して、ベースステーションをコンピュータに接続します。コンピュータネットワークの IP アドレスを **192.168.218.XXX** に、ベースステーションのデフォルトの IP アドレスを **192.168.218.10** に、サブネットマスクを **255.255.255.0** に設定します。



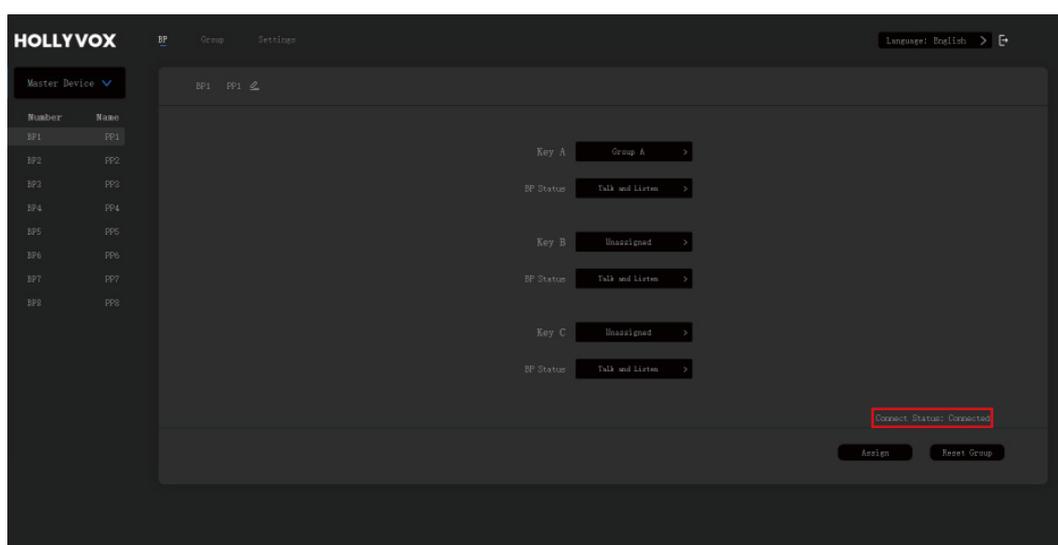
Web ページの設定

③ コンピュータでブラウザを開き、ベースステーションの IP アドレス `http://192.168.217.100` を入力します。ユーザー名 `admin` とベースステーションのログインパスワード (デフォルトのパスワード: `12345678`) を使用してログインします。

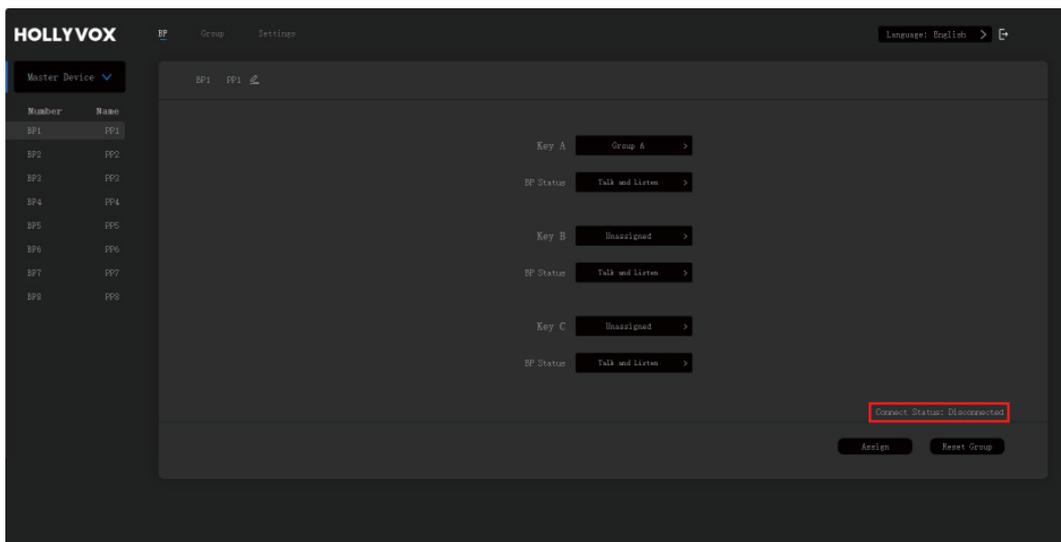


④ Web ページにログインすると、ベースステーションをアップグレードしたり、ベルトパックをグループ化したり、ベルトパックを設定することができます。

- 必要に応じて、対応するベルトパックインターフェイスをクリックします。赤ボックス内の状態は、ベルトパックがベースステーションに接続されているか否かを示しています。ステータスが「Connected」と表示されている場合にのみ、ベルトパックが設定できます。



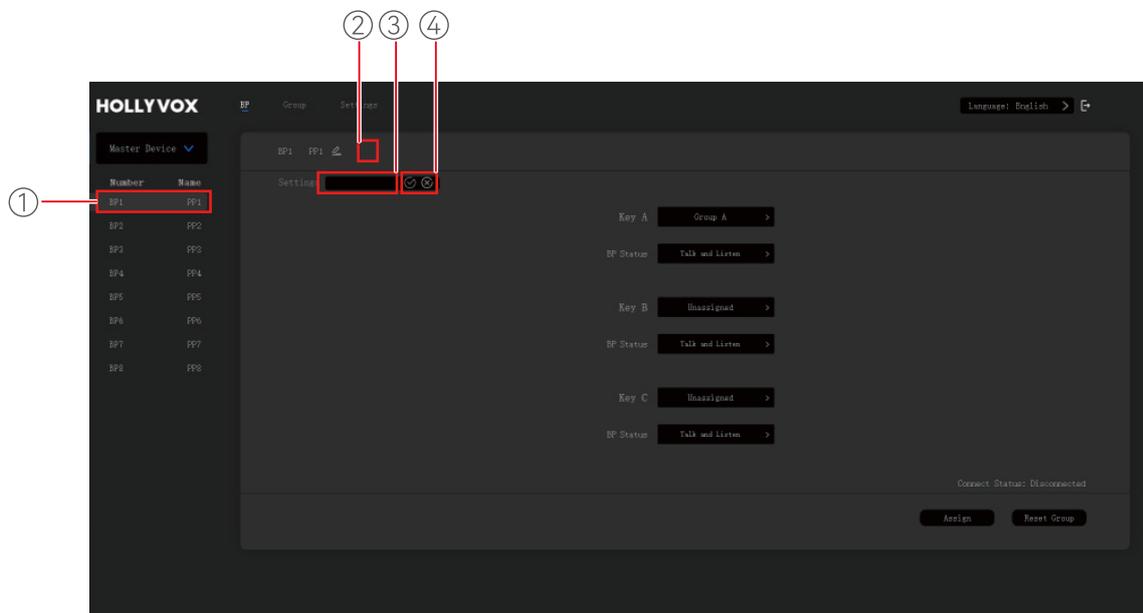
Web ページの設定



5.2 ベルトパックを設定する

5.2.1 ベルトパックの名前を変更する

対応するベルトパックの番号をクリックして、ベルトパックに名前を付けます。名前には漢字は使用できず、英語の大文字と小文字、数字を含む6文字に制限されています。

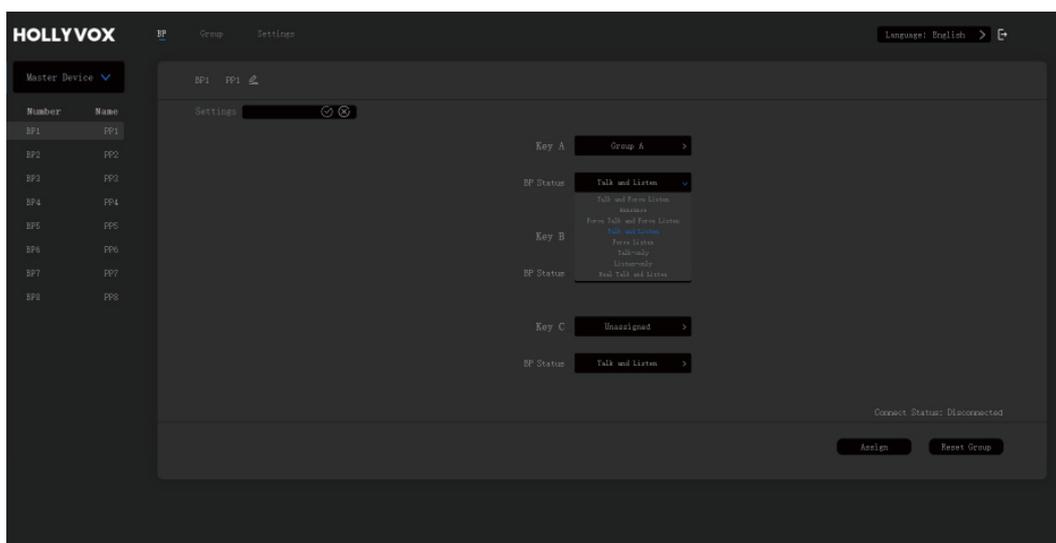


- ① 対応するベルトパックの番号をクリックします
- ② 編集アイコンをクリックします
- ③ ベルトパックの名前を編集します
- ④ 確認アイコンをクリックすると確定します。キャンセルアイコンをクリックするとキャンセルします

Web ページの設定

5.2.2 ベルトパックをグループ化する

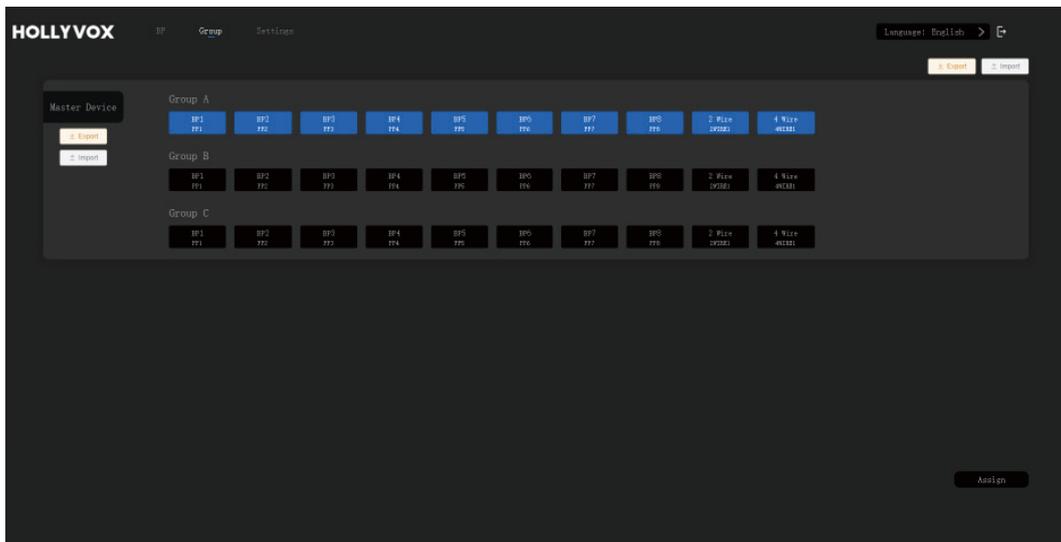
接続したベルトパックをクリックして、下図のように、グループ化と通信を設定します。設定したら、Assignをクリックし、ベルトパックを希望のモードに切り替えます。



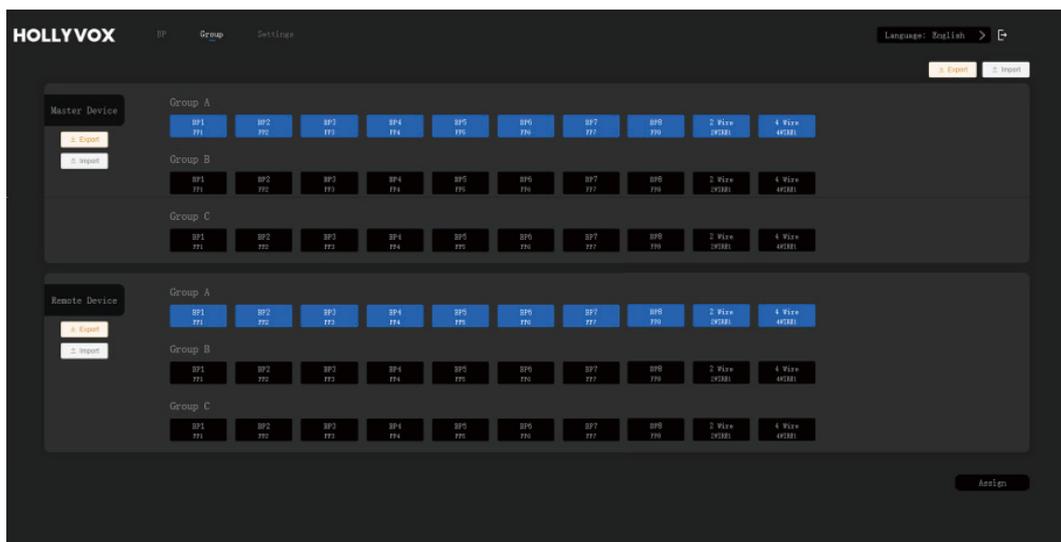
Web ページの設定

5.3 インターカムシステムをグループ化する

① インターカムシステムをグループ化することができます。下図は、インターカムシステムが1台のみの場合のグループ化を示しています。



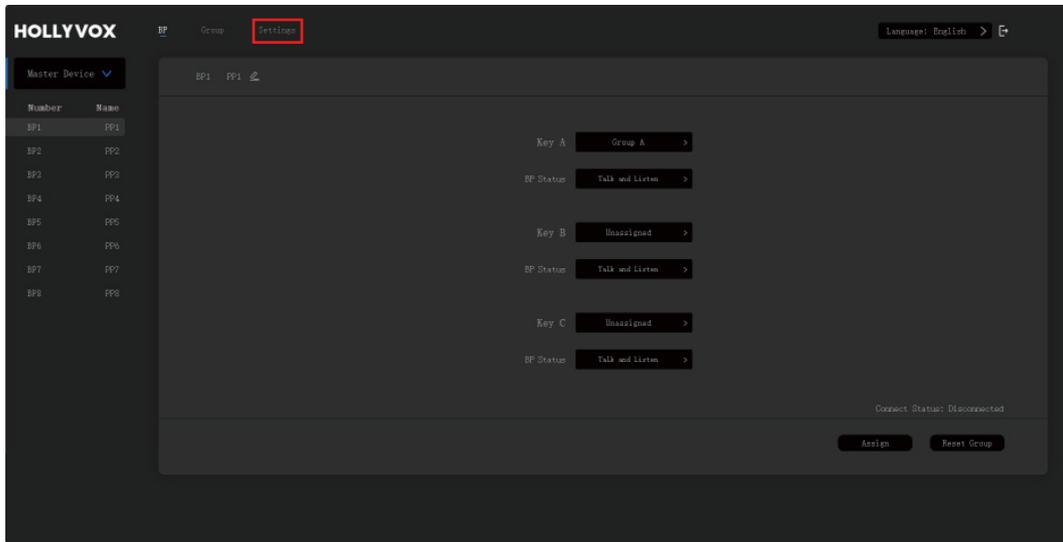
② 下図は、2台のインターカムシステムがカスケード接続されている場合のグループ化を示しています。



Web ページの設定

5.4 カスケード接続されたインターカムシステムの設定

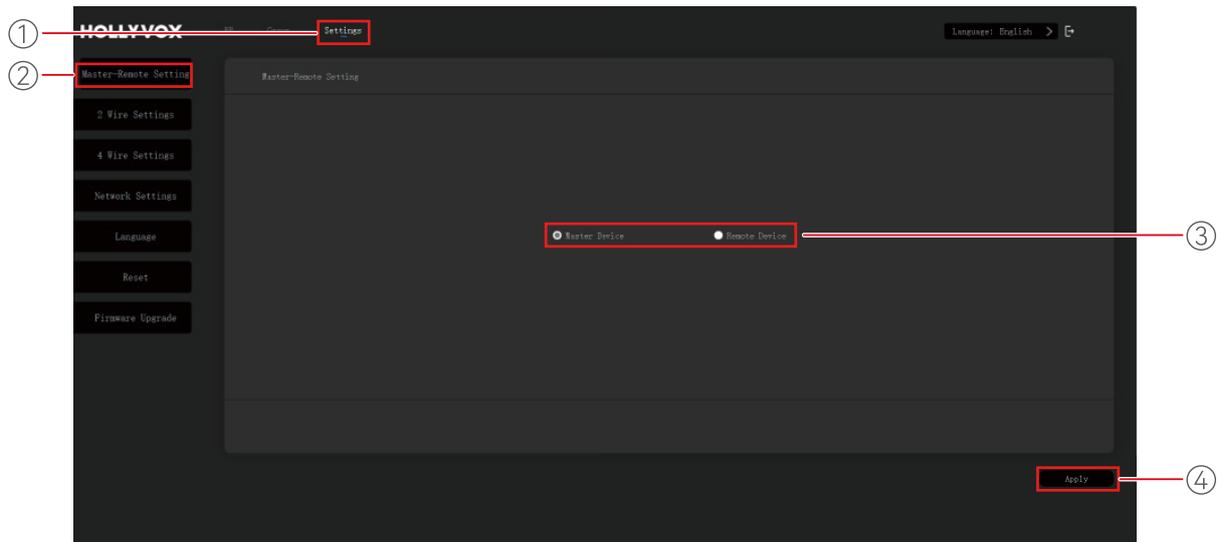
Settingsをクリックし、設定インターフェイスにアクセスします。



5.4.1 ベースステーションを、マスターまたはリモートデバイスとして設定します

ベースステーションを1台で使用する場合は、マスターデバイスとして設定する必要があります。2台のベースステーションを使用する場合、一方のベースステーションをマスターデバイスとして設定し、もう一方のベースステーションをリモートデバイスとして設定する必要があります。この機能は、ネットワークインターフェイスを通じて2台のベースステーションがカスケード接続されている場合にのみ使用できます。設定後、**Apply** をクリックすると、直ちに有効になります。マスターデバイスとして設定されたベースステーションでは、ベルトパック番号が自動的に1～8に変更されます。リモートデバイスとして設定されたベースステーションでは、ベルトパック番号が自動的に9～16に変更されます。カスケード接続の場合、一方のベースステーションをリモートデバイスとして設定する必要があります。1台のみのベースステーションがリモートデバイスとして設定された場合、ベルトパック間の通信が無効になります。この場合、そのベースステーションは、マスターデバイスにリセットする必要があります。

Web ページの設定



- ① Settingsをクリックします
- ② Master-Remote Settingをクリックします。
- ③ ベースステーションを、マスターまたはリモートデバイスとして設定します
- ④ Applyをクリックします

5.4.2 カスケード接続された2線式システムの設定

① 自動ヌル

ベースステーションを2線式デバイスに接続します。2線式デバイスの電源を入れ、2線式リンクに他のオーディオが伝送されないように、マイクをオフにするか接続を外します。さもないと、自動ヌル設定の精度に影響が出る可能性があります。**Auto Null**を選択し**Confirm**を押すと、ベースステーションが2線式デバイスの自動ヌル設定を実行します。

② 終端抵抗

Terminal Resを選択して、2線式インターフェイスを介して接続された2線式デバイスに終端抵抗があるかどうかを確認します。ある場合は**OFF**を選択します。ない場合は**ON**を選択します。

③ ケーブル補正

Cable Compensationを選択して2線式ケーブルの長さを確認し、ケーブル長に相当する補正オプションを選択します。

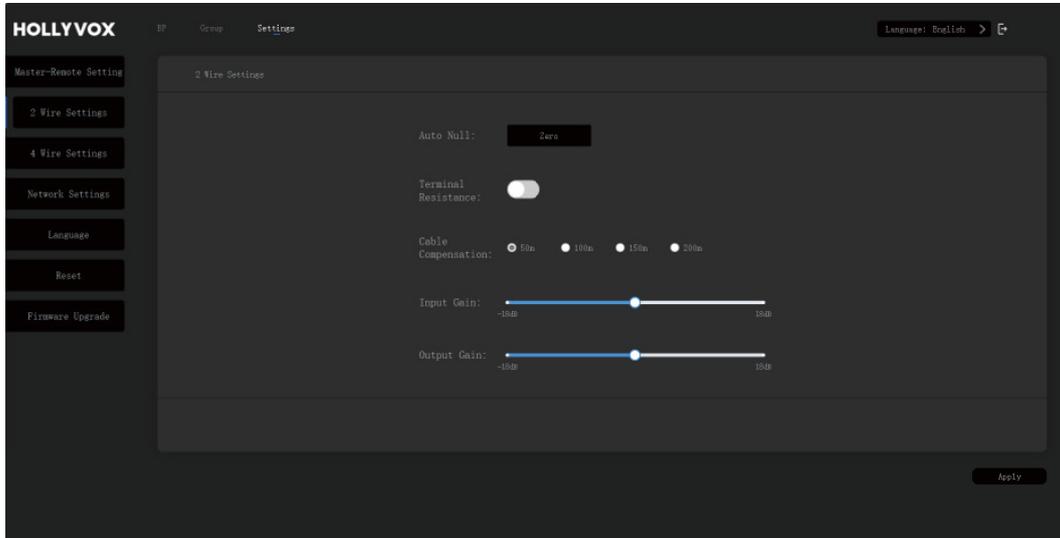
④ 入力ゲイン

-18dB~18dBのゲイン調整範囲で、1dB単位で、2線入力ゲインの線形調整が実行できます。

Web ページの設定

⑤ 出力ゲイン

-18dB~18dBのゲイン調整範囲で、1dB単位で、2線出力ゲインの線形調整が実行できます。



5.4.3 カスケード接続された4線式システムの設定

① 入力ゲイン

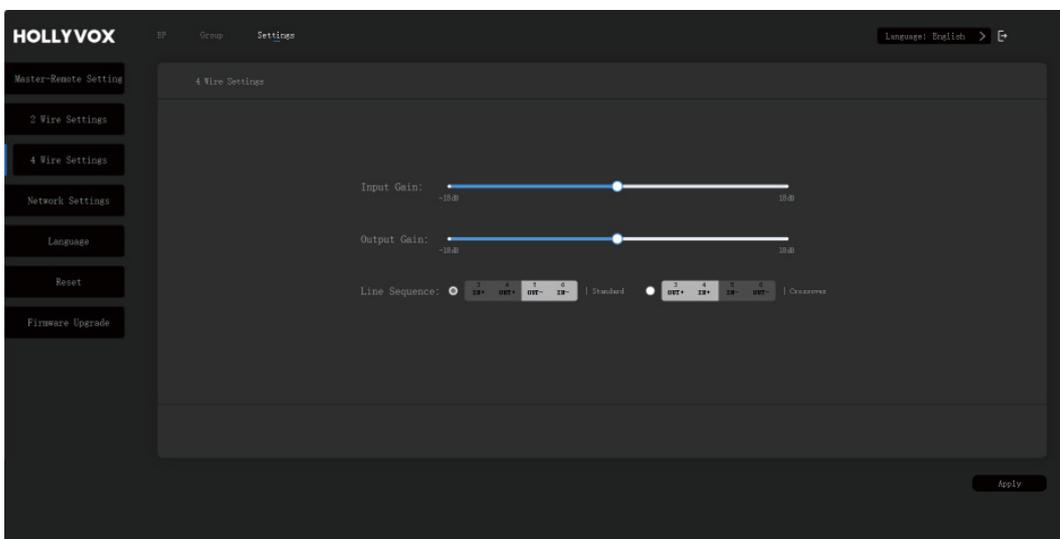
-18dB~18dBのゲイン調整範囲で、1dB単位で、4線入力ゲインの線形調整が実行できます。

② 出力ゲイン

-18dB~18dBのゲイン調整範囲で、1dB単位で、4線出力ゲインの線形調整が実行できます。

③ ラインシーケンスの切り替え

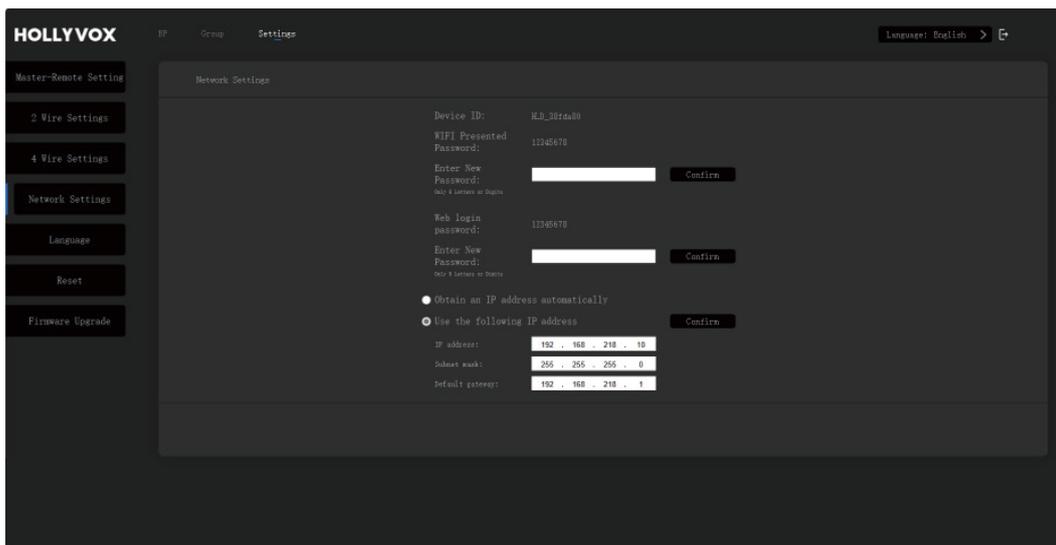
4線式オーディオシステムでは、ラインシーケンスを切り替えることができます。



Web ページの設定

5.4.4 ベースステーションのネットワークの設定

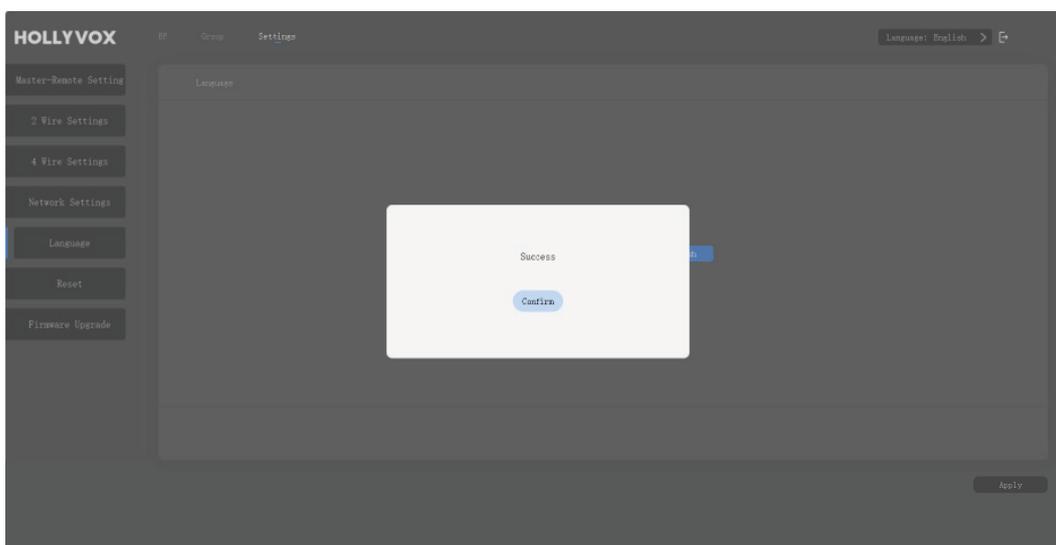
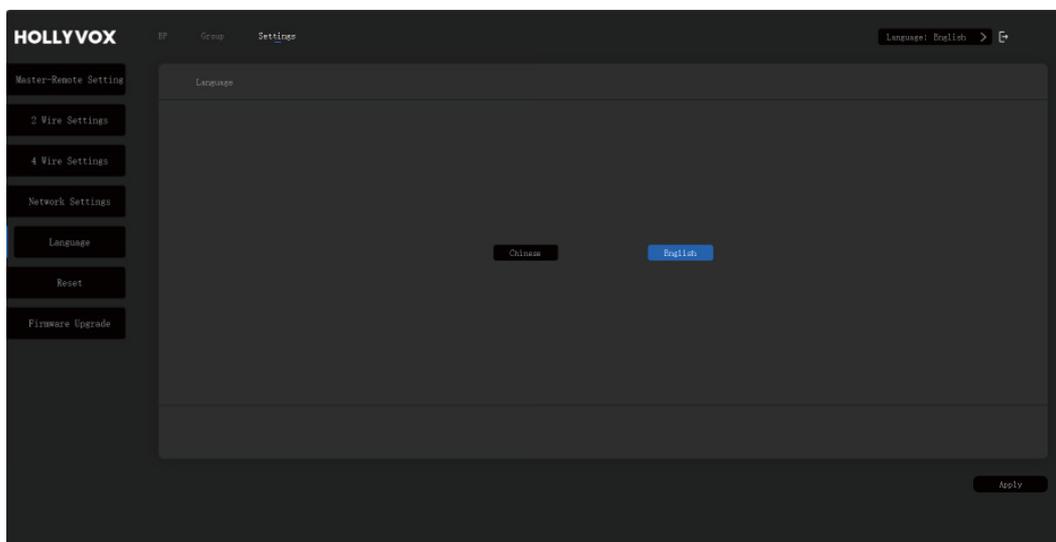
Wi-Fiパスワードとベースステーションのログインパスワードが変更できます。新しいパスワードを入力した後で、**Confirm**をクリックすると、直ちに適用されます。このインターフェイスでは、手動で、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定することもできます。



Web ページの設定

5.4.5 ベースステーションの言語の切り替え

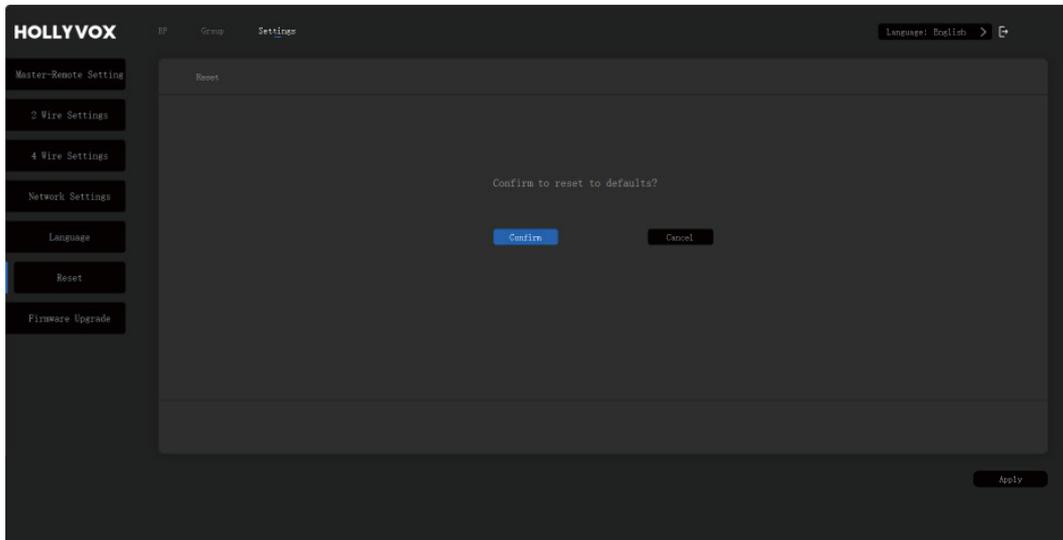
Languageをクリックすると、言語が中国語と英語に切り替わります。



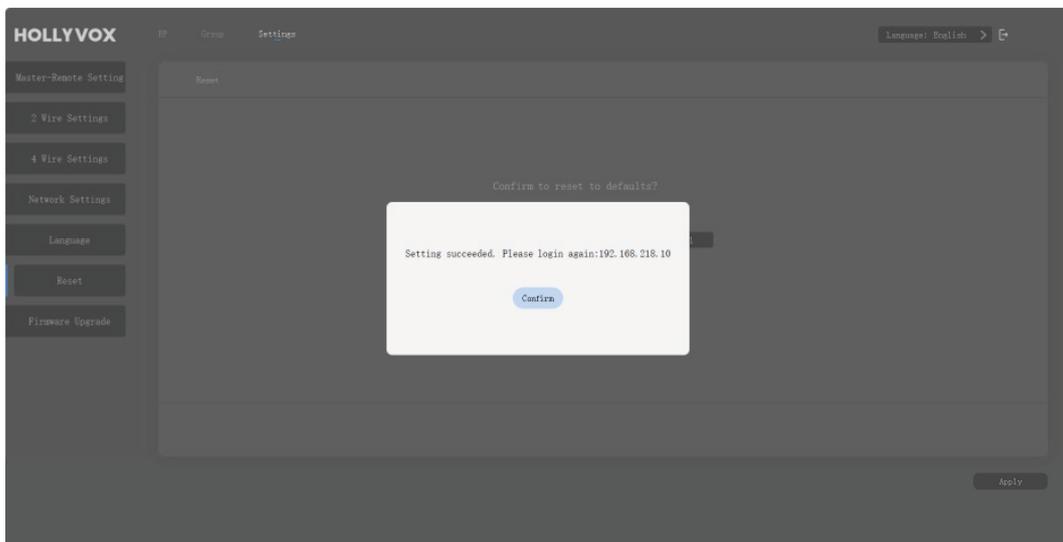
Web ページの設定

5.4.6 ベースステーションのリセット

Resetをクリックし、Confirmをクリックし、Applyをクリックすると、ベースステーション設定情報がデフォルト設定にリセットされます。



Confirmをクリックして、再度ログインします。

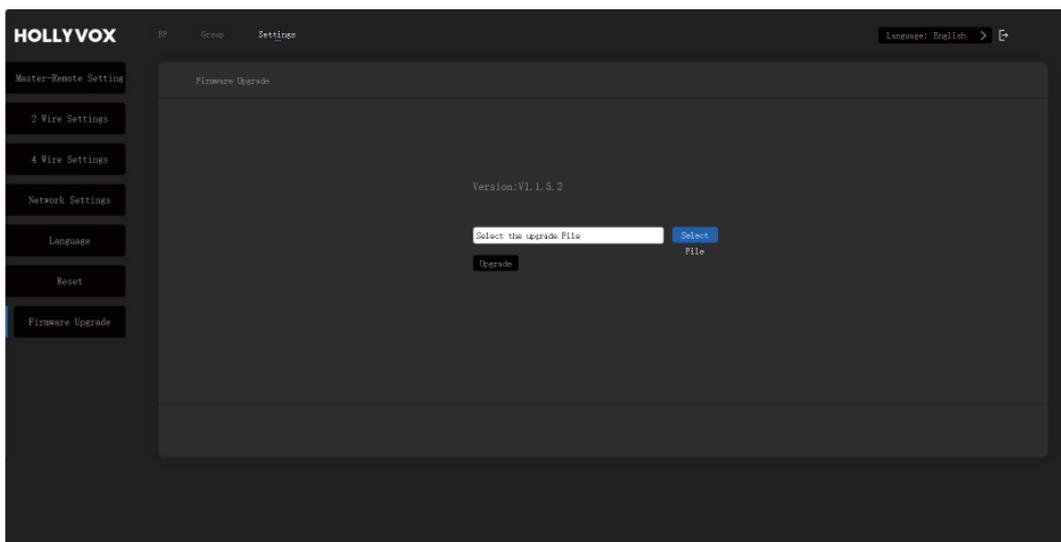


Web ページの設定

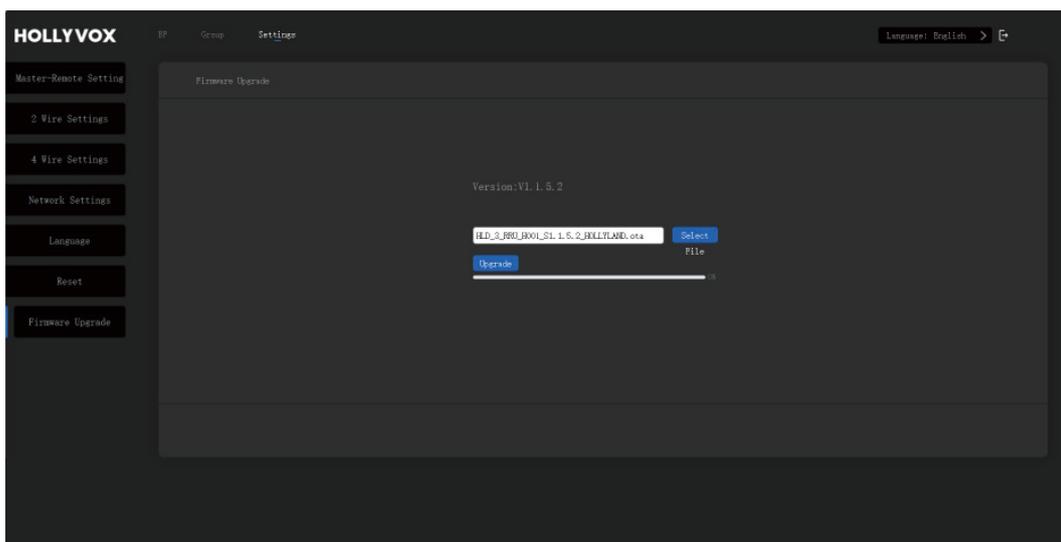
5.4.7 ベースステーションのファームウェアのアップグレード

注意：テクニカルサポートに請求するか、公式Webサイトからダウンロードすると、ベースステーションのファームウェアインストールファイルが取得できます。

① コンピュータにファームウェアをダウンロードし、**Select**をクリックしてファームウェアファイルを選択し、**Upgrade**をクリックします。

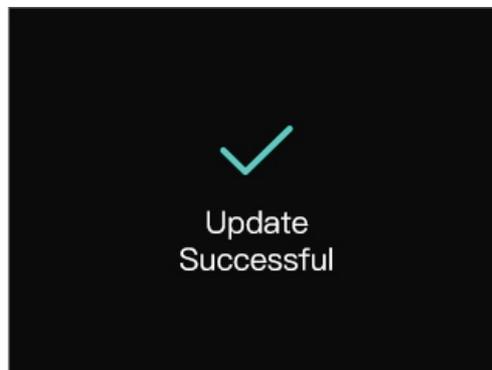
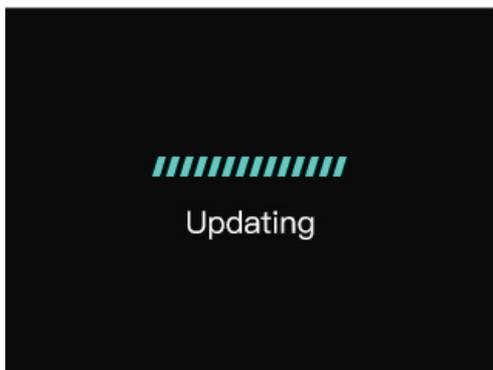


② アップグレードの進捗状況が100%に達するまで待ちます。

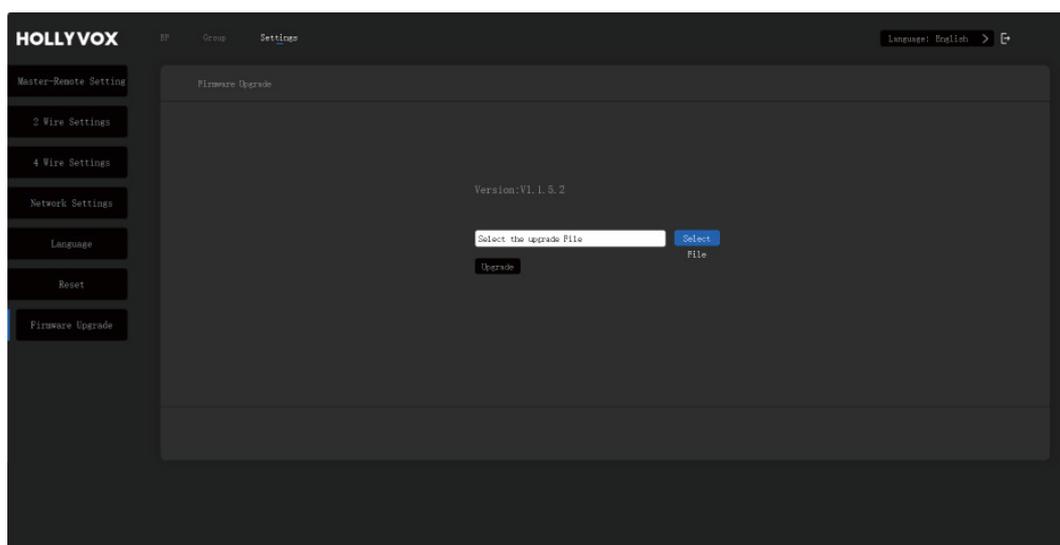


Web ページの設定

③ ファームウェアのアップグレードが成功すると、ベースステーションは、自動的にアップグレードを続行します。



④ アップグレードが成功すると、Webページに表示されるバージョンが、最新アップグレードバージョンに切り替わります。

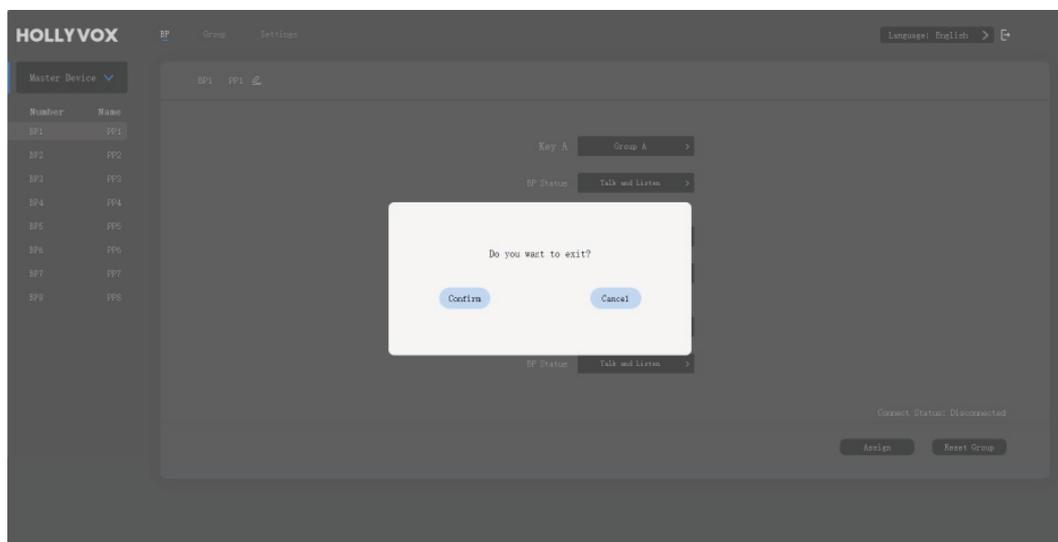
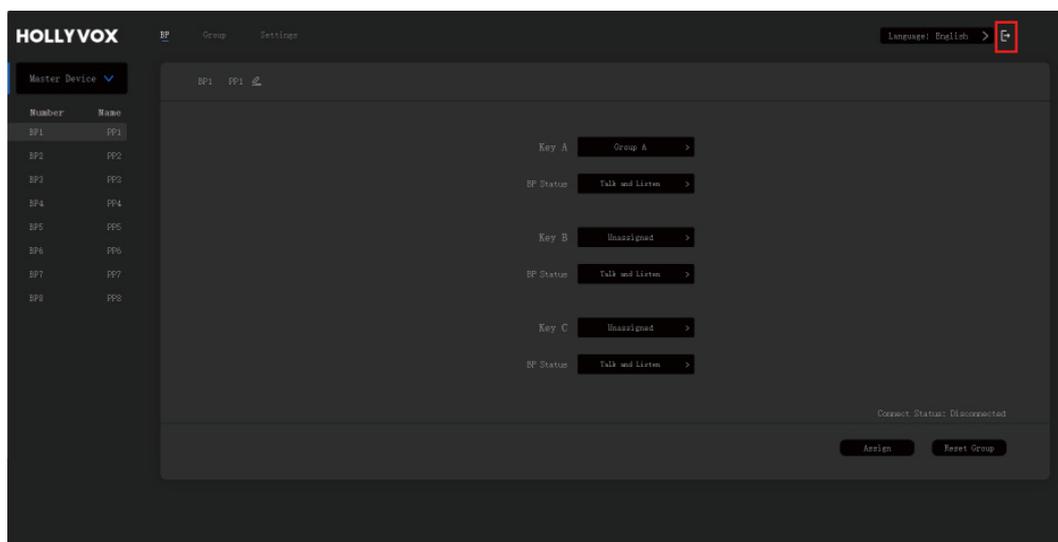


注意：ベースステーションとベルトパックのファームウェアのバージョンが異なる場合は、USB-A対USB-C変換ケーブルを使用して、ベースステーションにベルトパックを接続する必要があります。ベースステーションは、自動的に、ベースステーションのファームウェアと一致するように、ベルトパックのファームウェアを更新します。ベルトパックのファームウェアをアップグレードした後に、ベルトパックが正常に動作するように、もう一度、ベルトパックとベースステーションをペアリングする必要があります。

Web ページの設定

5.5 Web ページの終了

デバイスの操作が終了したら、終了アイコンをクリックし、Confirmをクリックしてページを閉じます。



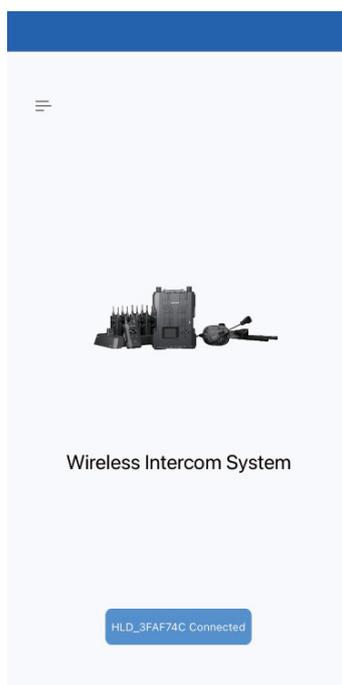
6.1 Hollyvox アプリのダウンロード

下のQRコードをスキャンして、Hollyvoxアプリをダウンロードします。



6.2 ベースステーションの Wi-Fi にスマートフォンを接続します

ベースステーションのWi-Fiを起動し、スマートフォンで「HLD」で始まるWi-Fiネットワークを見つけ、Hollyvoxアプリを開きます。(Wi-Fiを起動し、ベースステーションのネットワークメニューで対応するSSIDとパスワードを確認することができます。)スマートフォンとWi-Fiの接続が成功すると、アプリに「HLD_XXXXX Connected」と表示されます。

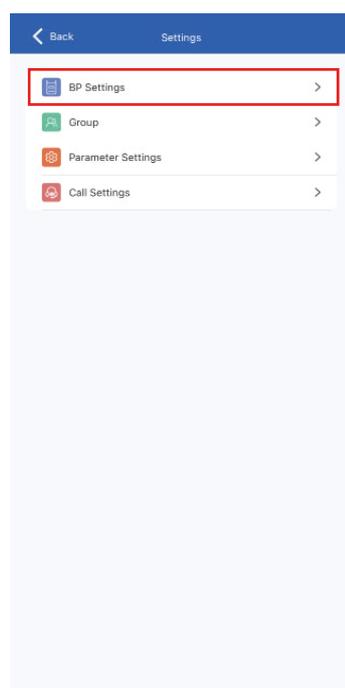


6.3 ベルトパックを設定する

① 「HLD_XXXXX Connected」をタップします。

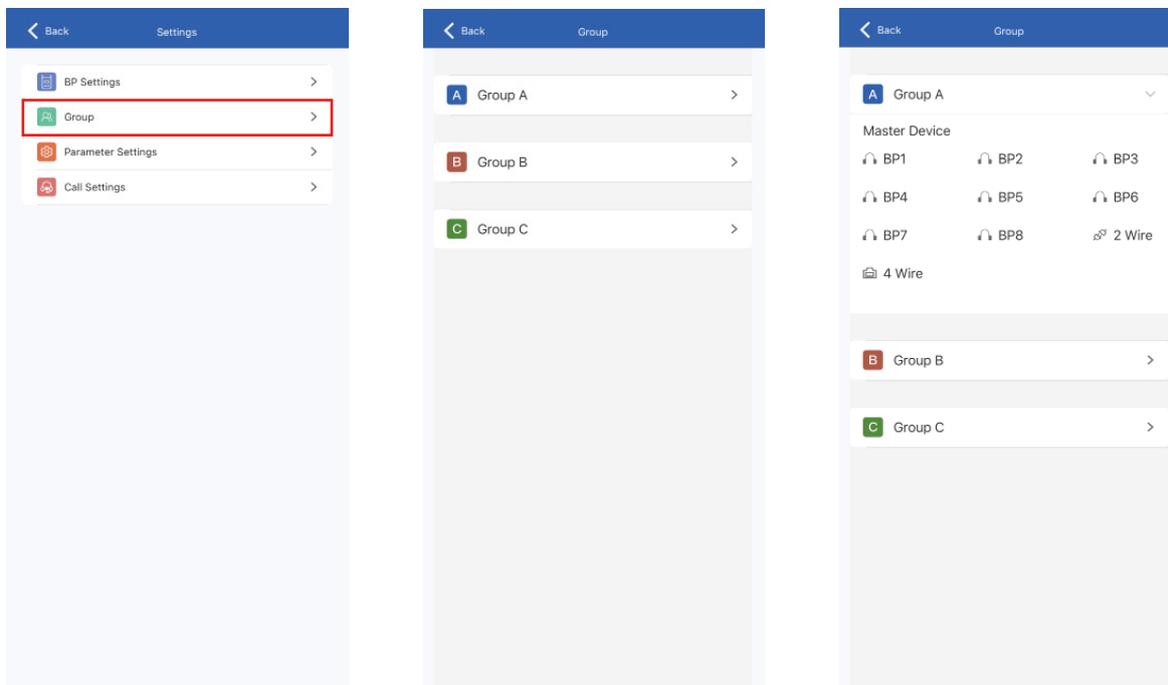


② BP Settings、Group、Parameter Settingsなどのメニューオプションが表示されます。BP Settingsをクリックし、インターフェイスにアクセスします。ベルトパックをタップして名前を割り当てます。



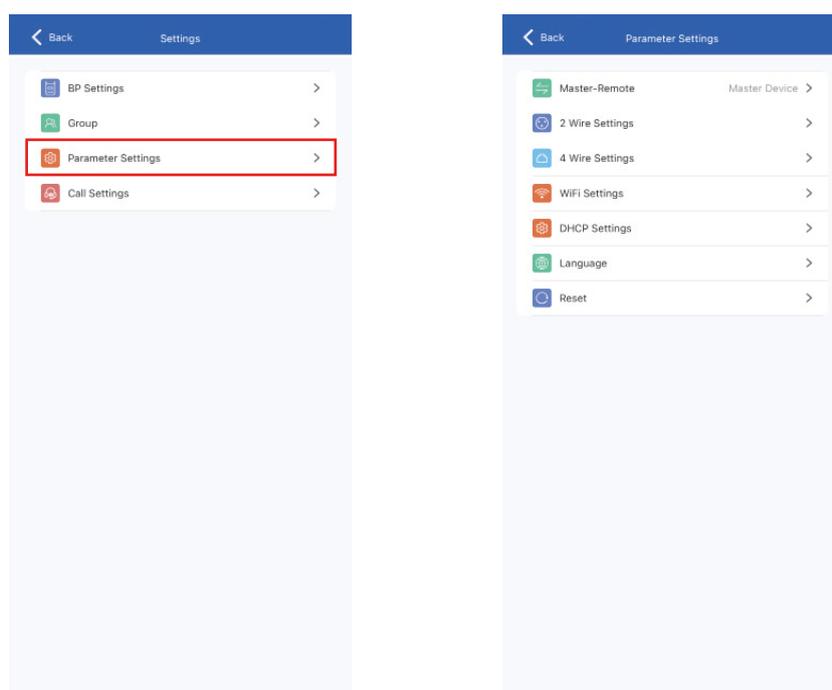
6.4 グループ化の確認

Groupを選択し、グループ化を確認します。



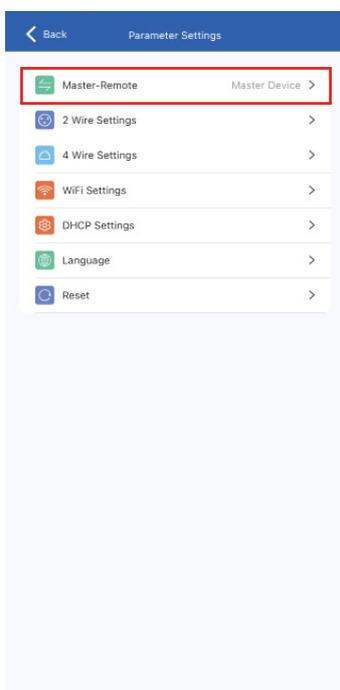
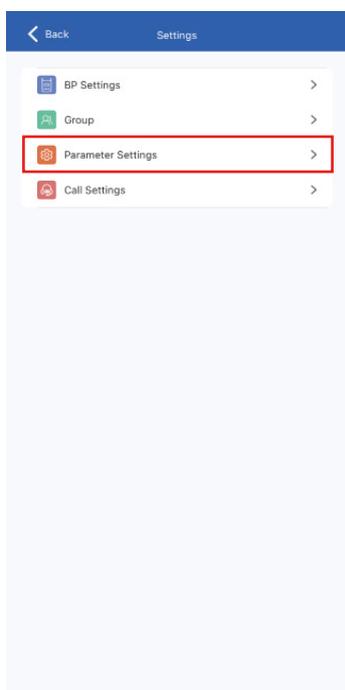
6.5 パラメータの設定

① Parameter Settingsを選択し、このインターフェイスにアクセスします。このインターフェイスでは、Master-Remote、2-Wire Settings、4-Wire Settings、Wi-Fi Settings、Language、Resetなどの設定が行えます。



6.5.1 M&R 設定

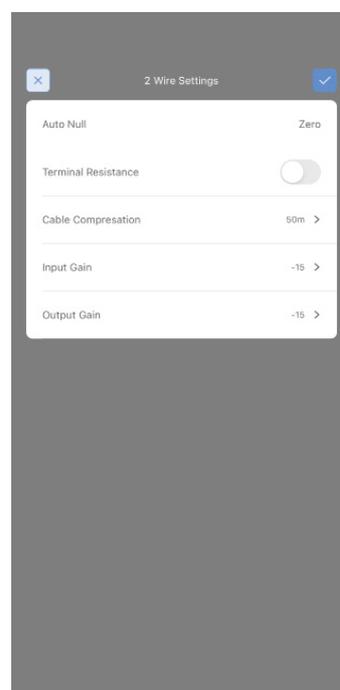
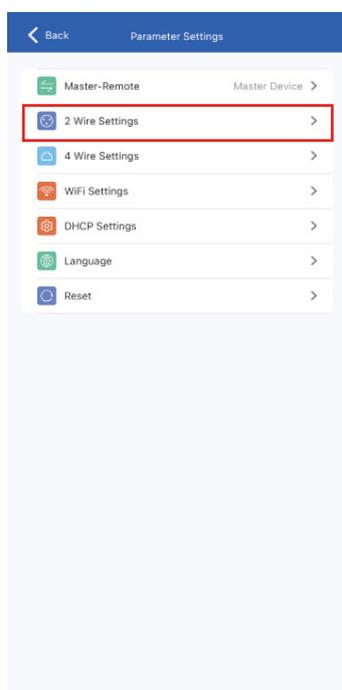
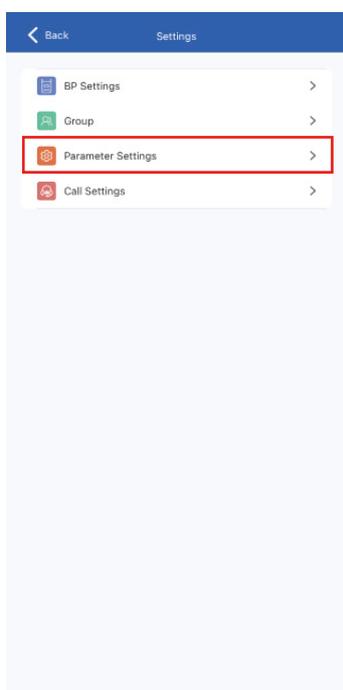
Parameter Settings を選択し、Master-Remote インターフェイスに進むと、ベースステーションのマスターデバイスとリモートデバイスが設定できます。ベースステーションを1台で使用する場合は、マスターデバイスとして設定する必要があります。2台のベースステーションを使用する場合、一方のベースステーションをマスターデバイスとして設定し、もう一方のベースステーションをリモートデバイスとして設定する必要があります。この機能は、ネットワークインターフェイスを通じて2台のベースステーションがカスケード接続されている場合にのみ使用できます。設定後、Apply をタップすると、直ちに有効になります。マスターデバイスとして設定されたベースステーションでは、ベルトパック番号が自動的に1～8に変更されます。リモートデバイスとして設定されたベースステーションでは、ベルトパック番号が自動的に9～16に変更されます。カスケード接続の場合、一方のベースステーションをリモートデバイスとして設定する必要があります。1台のみのベースステーションがリモートデバイスとして設定された場合、ベルトパック間の通信が無効になります。この場合、そのベースステーションは、マスターデバイスにリセットする必要があります。



6.5.2 2線式設定

① 自動ヌル

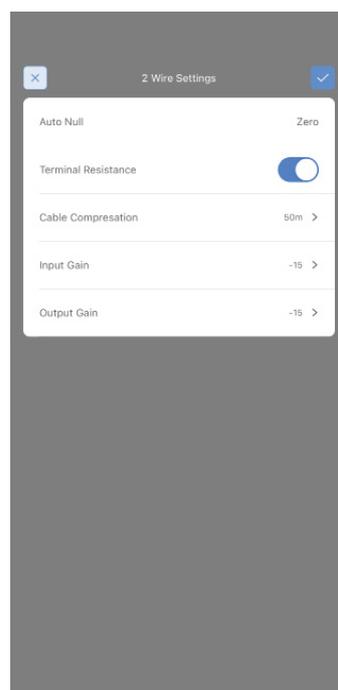
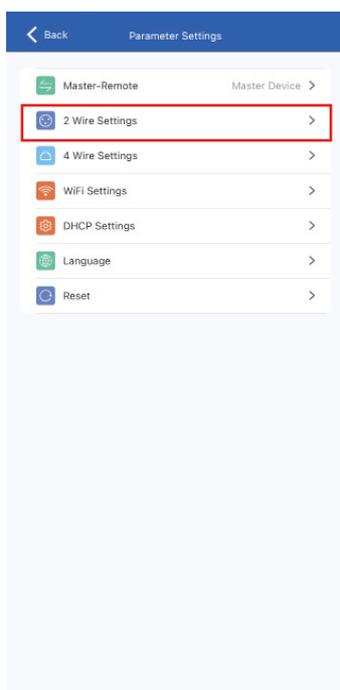
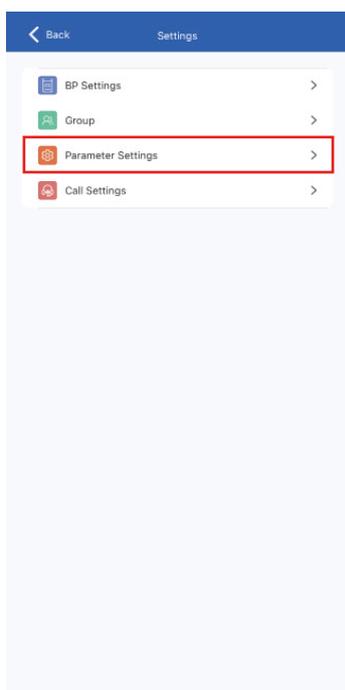
ベースステーションを2線式デバイスに接続します。2線式デバイスの電源を入れ、2線式リンクに他のオーディオが伝送されないように、マイクをオフにするか接続を外します。さもないと、自動ヌル設定の精度に影響が出る可能性があります。**Auto Null**を選択し**Confirm**を押すと、ベースステーションが2線式デバイスの自動ヌル設定を実行します。



Hollyvox アプリ

② 終端抵抗

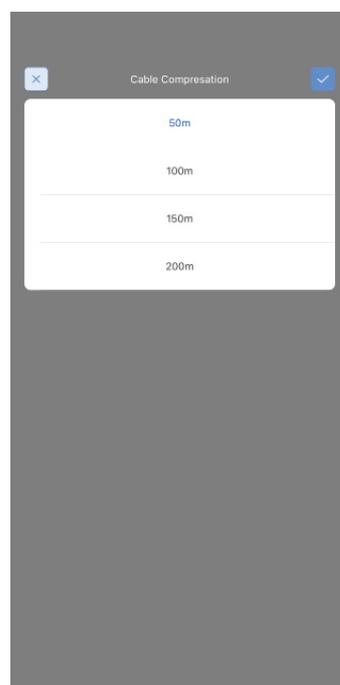
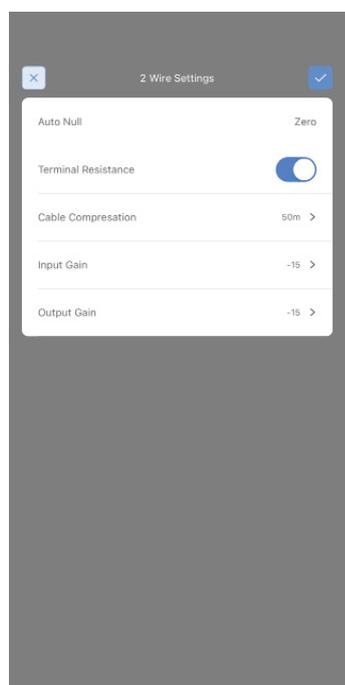
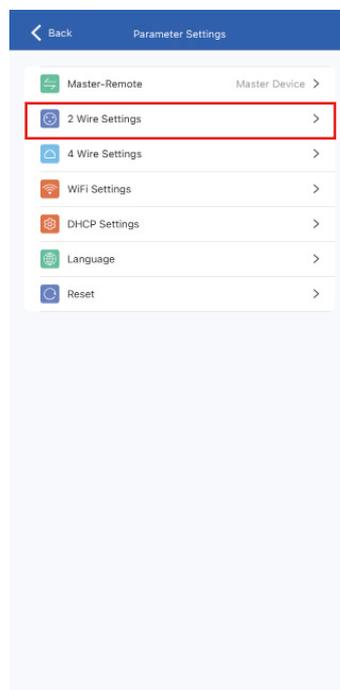
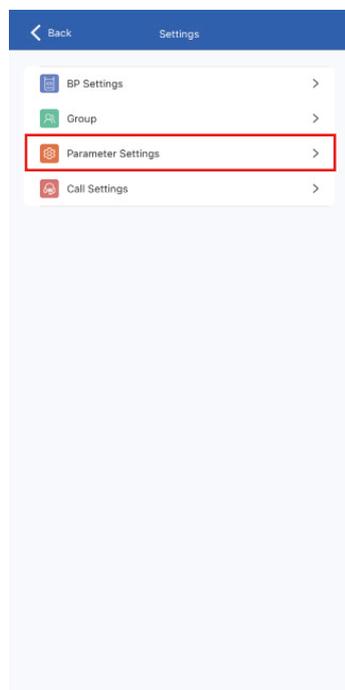
Terminal Resistanceを選択して、2線式インターフェイスを介して接続された2線式デバイスに終端抵抗があるかどうかを確認します。ある場合はOFFを選択します。ない場合はONを選択します。



Hollyvox アプリ

③ ケーブル補正

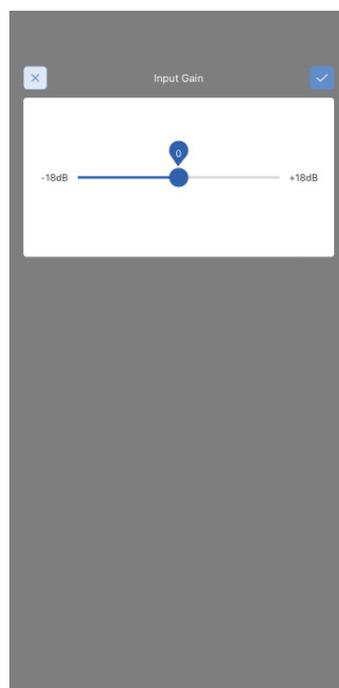
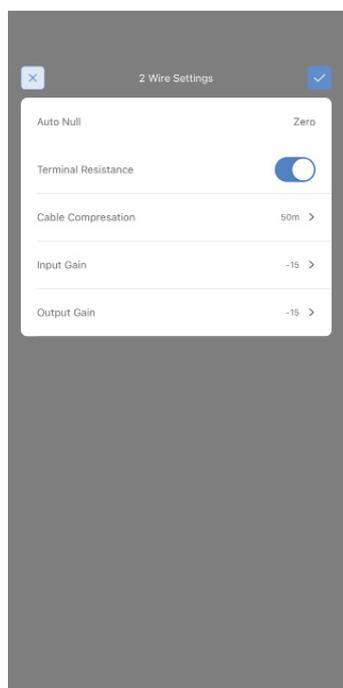
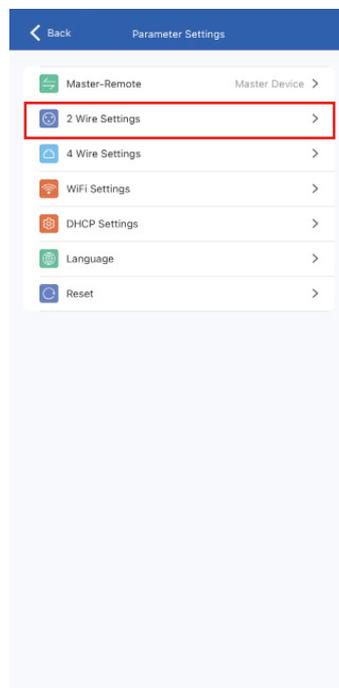
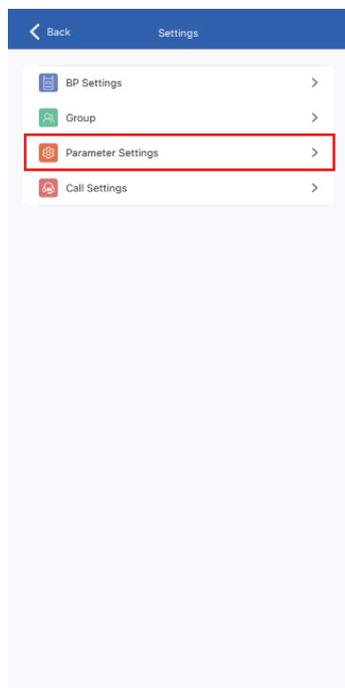
Cable Compensationを選択して2線式ケーブルの長さを確認し、ケーブル長に相当する補正オプションを選択します。



Hollyvox アプリ

④ 入力ゲイン

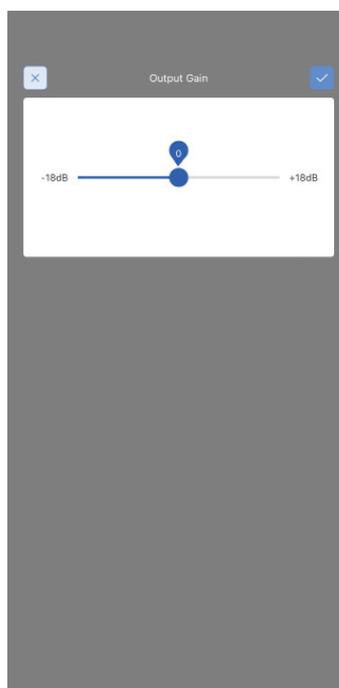
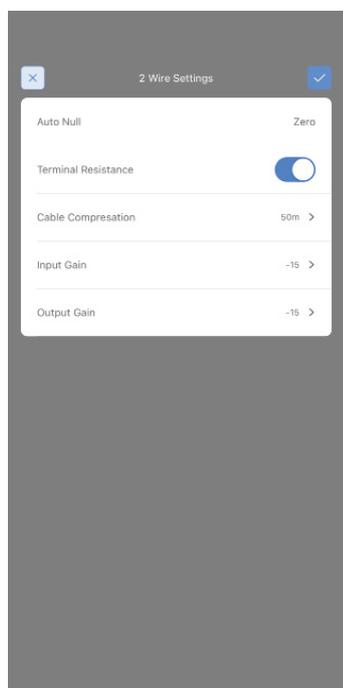
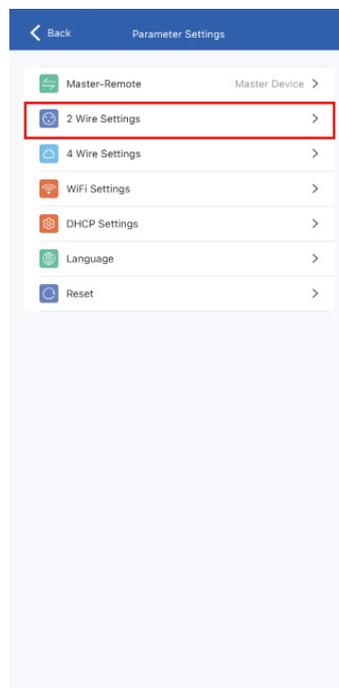
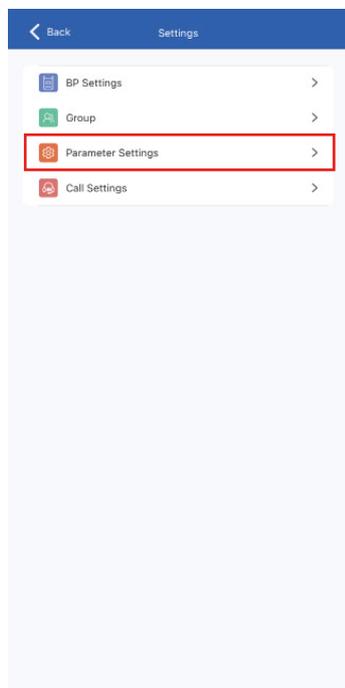
設定を調整すると、対応する値に応じて入力信号を増減することができます。



Hollyvox アプリ

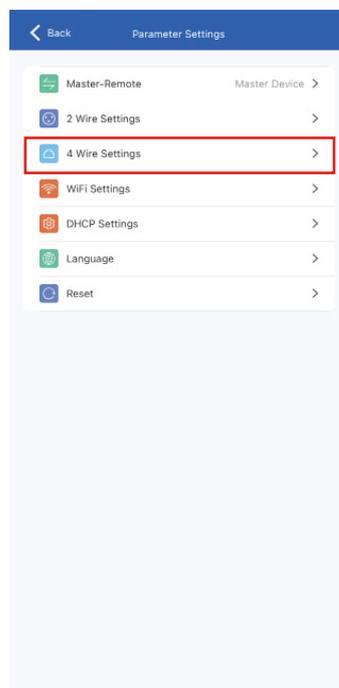
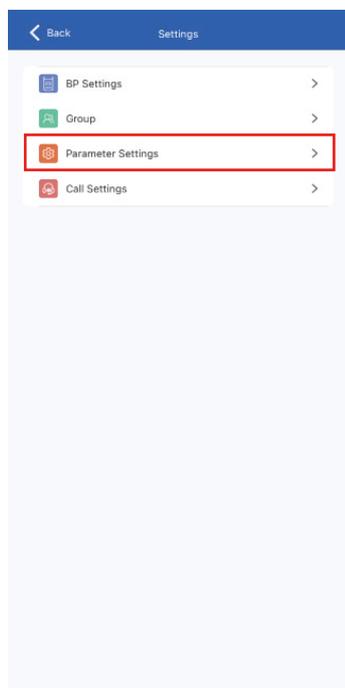
⑤ 出力ゲイン

設定を調整すると、対応する値に応じて出力信号を増減することができます。



6.5.3 4 線式設定

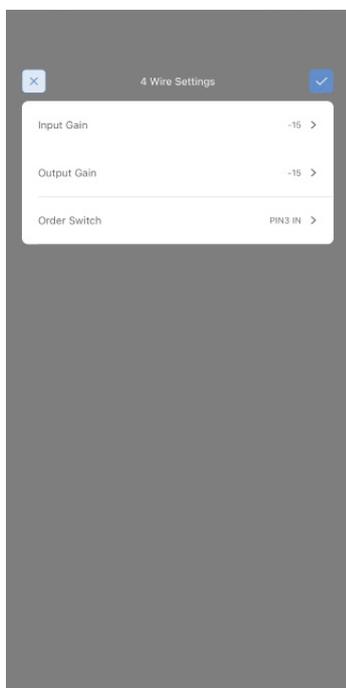
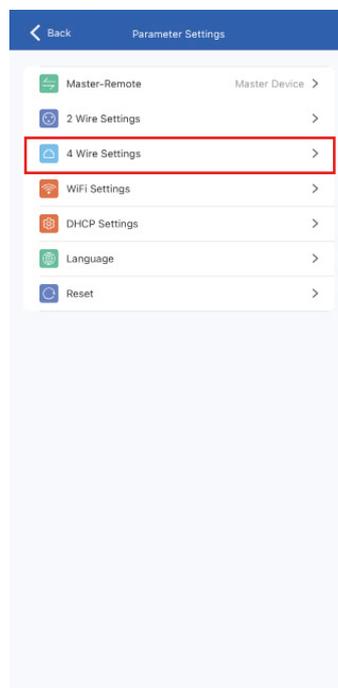
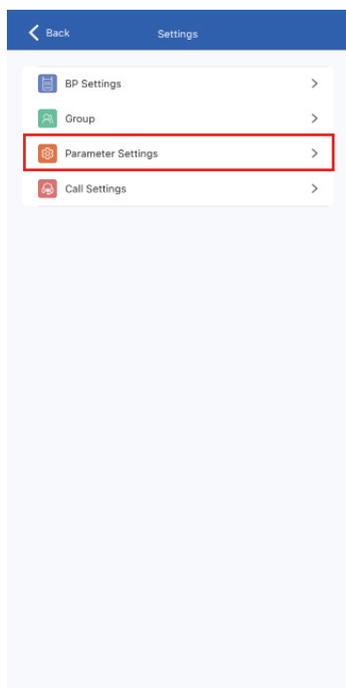
4-Wire Settingsを選択し、このインターフェイスにアクセスします。



Hollyvox アプリ

① 入力ゲイン

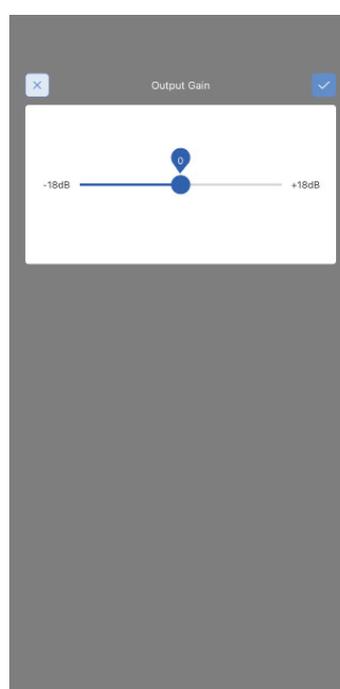
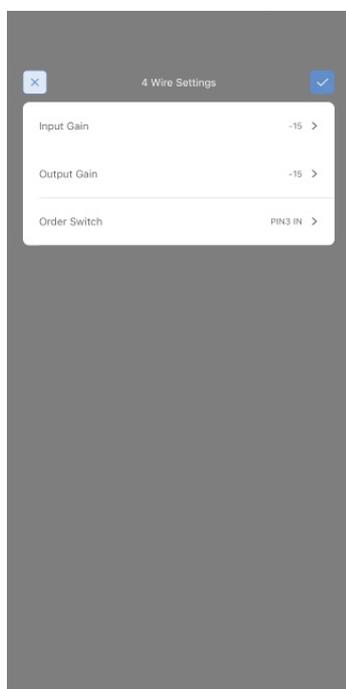
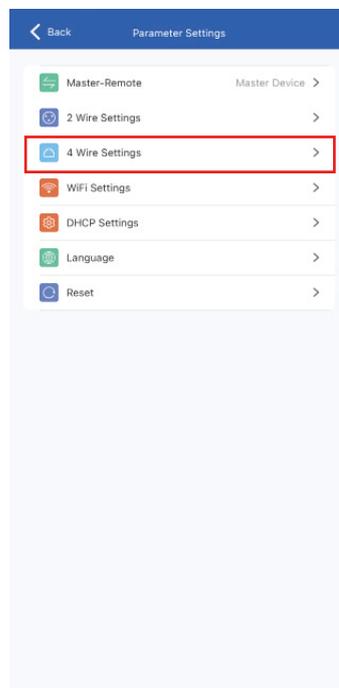
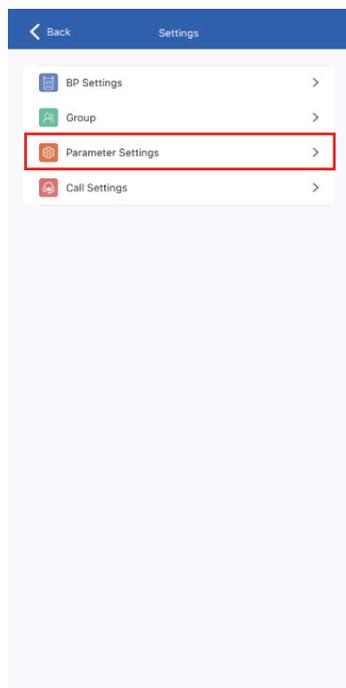
4線式オーディオシステムの入力ゲインを調整することができます。



Hollyvox アプリ

② 出力ゲイン

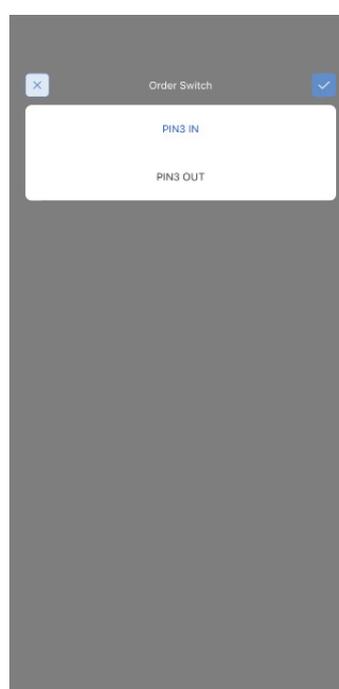
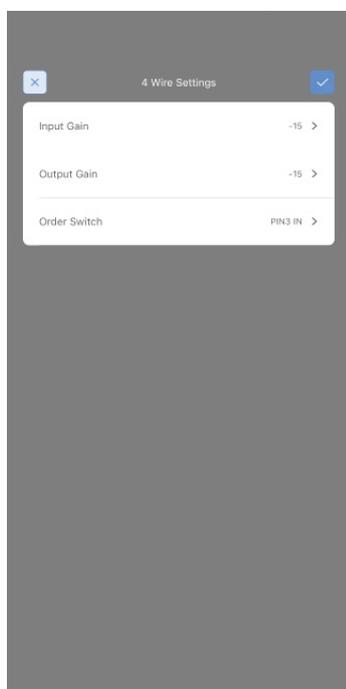
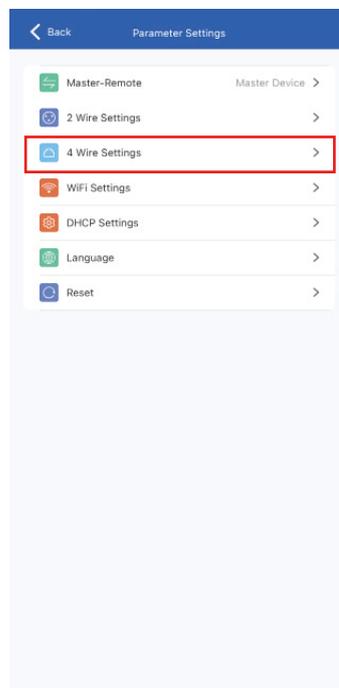
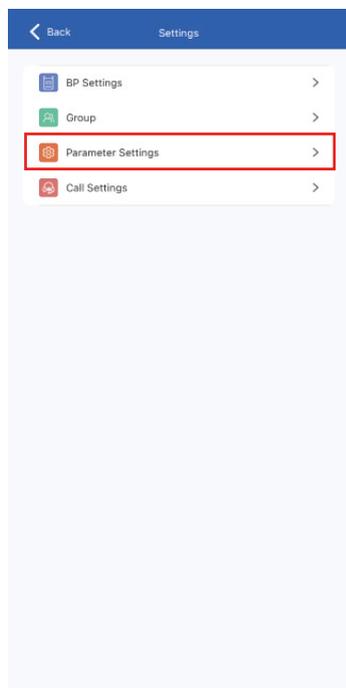
4線式オーディオシステムの入力ゲインを調整することができます。



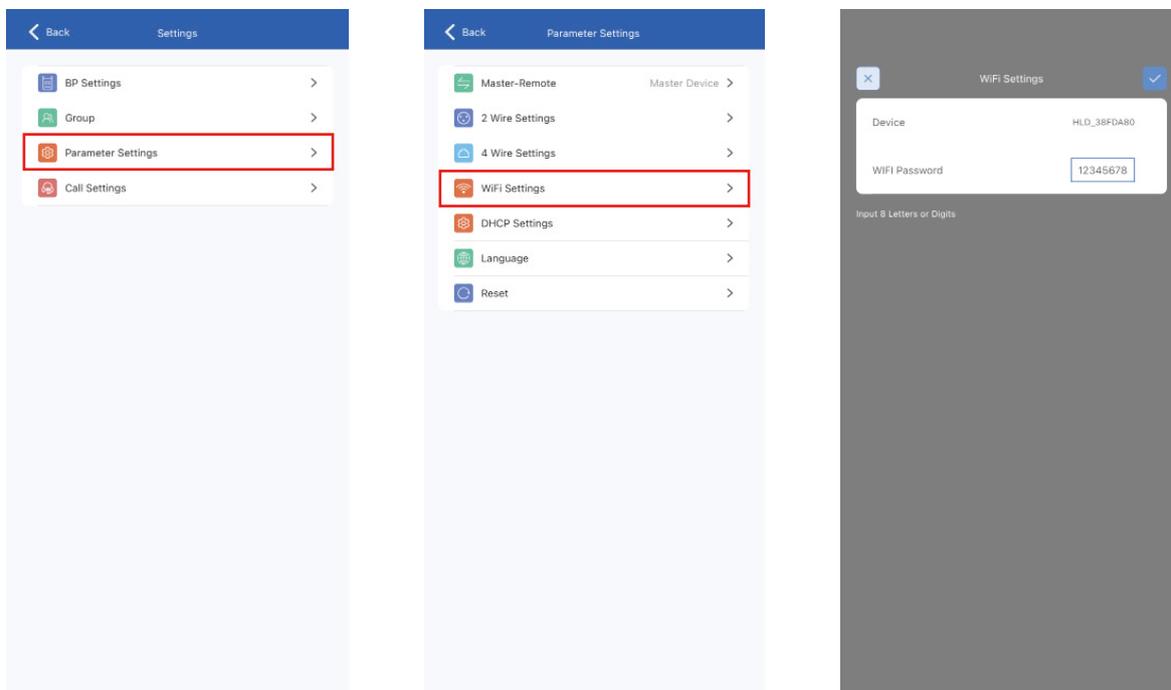
Hollyvox アプリ

③ ラインシーケンスの切り替え

4線式オーディオシステムでは、ラインシーケンスを切り替えることができます。

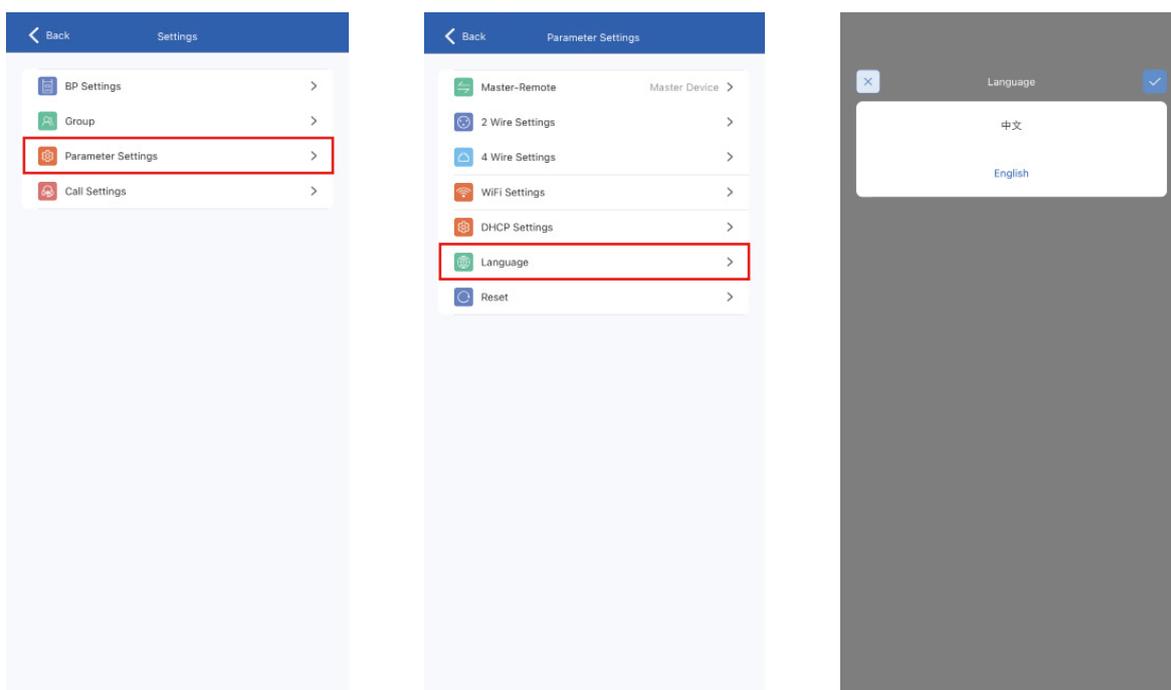


6.5.4 Wi-Fi 設定



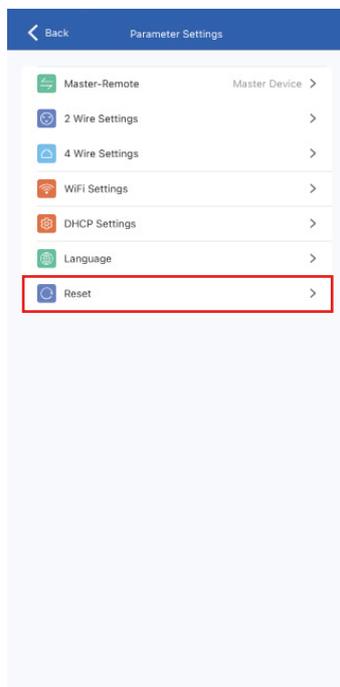
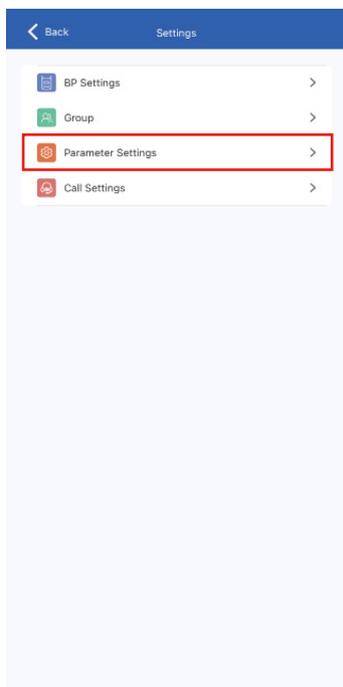
6.5.5 言語

Languageを選択し、表示言語を中国語と英語に切り替えます。Parameter Settingsを選択して言語インターフェイスにアクセスし、中国語と英語を切り替えます。☑️をタップして適用します。

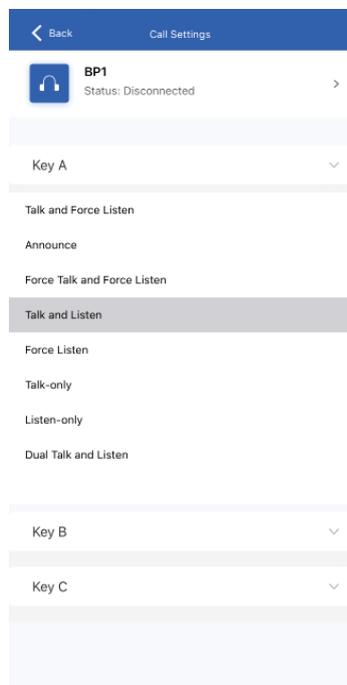
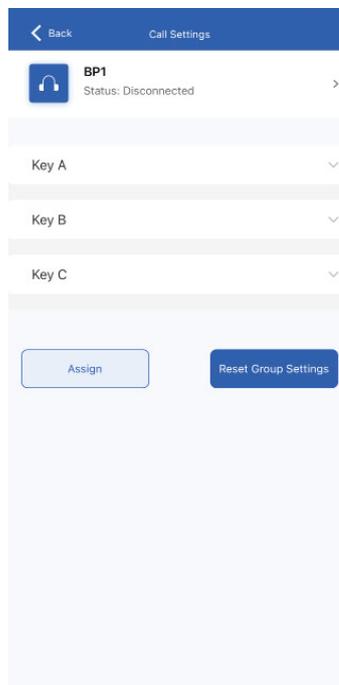
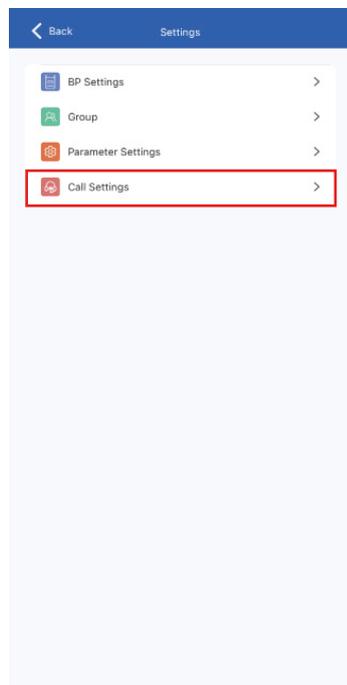


6.5.6 リセット

Parameter Settingsを選択し、リセットインターフェイスにアクセスして、対応するリセット機能を実行します。

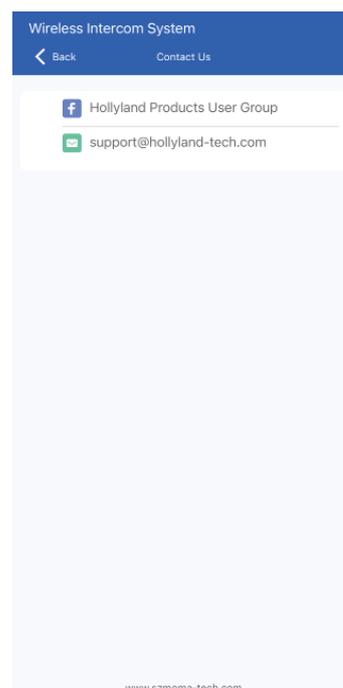
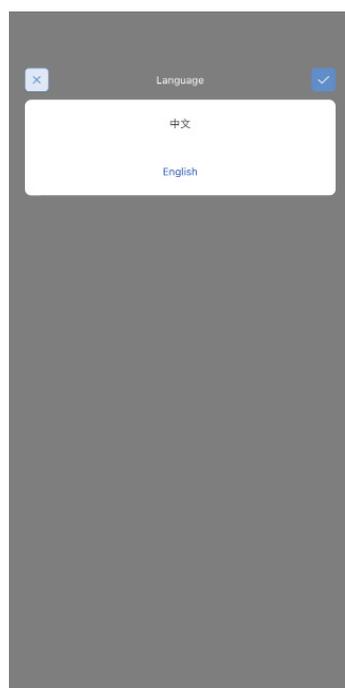
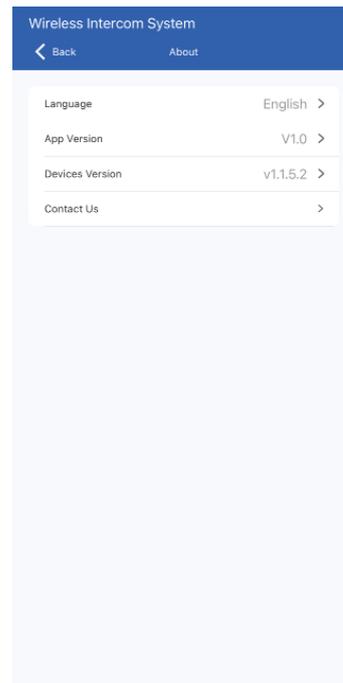
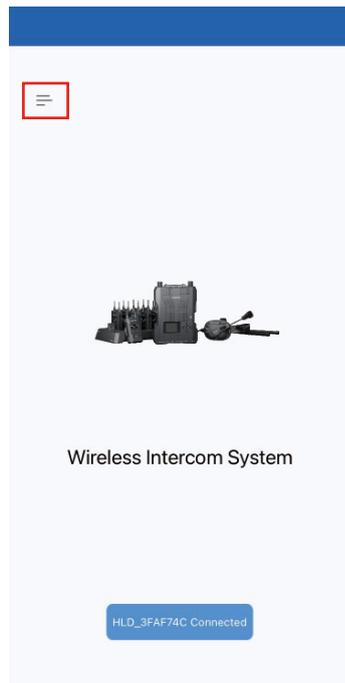


6.5.7 通話設定



6.6 Hollyvox アプリの一般設定

アプリの左上のメニューをタップし、一般設定インターフェイスにアクセスします。このインターフェイスで、アプリ言語の設定、アプリバージョン情報の表示、ベースステーションのバージョン情報の確認、メーカー連絡先情報の検索が行えます。



仕様

	ベースステーション	ベルトパック
端子	POEインターフェイス (RJ45) 電源供給インターフェイス (RJ45) 4線式オーディオインターフェイス 2線式オーディオインターフェイス USBインターフェイス	3.5mm ヘッドセットジャック 0B10 ヘッドセットインターフェイス USB-C インターフェイス
電源	POE 電源供給 NP-F バッテリー	1500mAh リチウムポリマーバッテリー
周波数特性	150 Hz-7 kHz	ENC オフ：200 Hz-7 kHz (± 6dB) ENC オン：200 Hz-7 kHz (± 10dB)
SN比	55dB 以上	60dB ± 2
歪率	< 1%	< 1%
見通し範囲	1,300ft (400m)	1,300ft (400m)
周波数帯	1.9GHz	1.9GHz
変調モード	GFSK	GFSK
送信出力	< 21dBm	< 21dBm
受信感度	≤ -93dBm	≤ -93dBm
帯域幅	1.728MHz	1.728MHz
消費電力	3W 未満	0.6W 未満
寸法	(長さ x 幅 x 高さ) : 255.5mm x 180.4mm x 48.5mm (10" x 7.1" x 1.9")	(長さ x 幅 x 高さ) : 105mm x 65mm x 22.4mm (4.13" x 2.56" x 0.88")
総重量	約 1560g (55oz)	約 200g (7oz)
ENCノイズキャンセリングレベル	/	20dB
温度範囲	0°C ~ 45°C (動作時) -20°C ~ 60°C (保管時)	0°C ~ 45°C (動作時) -20°C ~ 60°C (保管時)

仕様

	片耳ヘッドセット	両耳ヘッドセット
端子	0B10	0B10
ケーブルの長さ	4.9 フィート (1.5 メートル)	4.9 フィート (1.5 メートル)
周波数特性	200 Hz-7 kHz (± 6dB)	200 Hz-7 kHz (± 6dB)
最大SPL入力	> 117dB SPL	> 117dB SPL
最大SPL出力	> 116dB SPL	> 115dB SPL
マイクのタイプ	コンデンサマイク	コンデンサマイク
マイク極性パターン	メイン：超単一指向性 二次：無指向性	メイン：超単一指向性 二次：無指向性
スピーカーのインピーダンス	300 Ω	300 Ω
総重量	約 320g (11.3 オンス) (ヘッドセットケーブル込み)	約 410g (14.5 オンス) (ヘッドセットケーブル込み)
温度範囲	0°C ~ 45°C (動作時) -20°C ~ 60°C (保管時)	0°C ~ 45°C (動作時) -20°C ~ 60°C (保管時)

サポート

製品の使用中に何か問題や助けが必要な場合は、下記のHollyvox サポートチームにご連絡ください：

 [hollyvox.global](https://www.facebook.com/hollyvox.global)

 [hollyvox.global](https://www.instagram.com/hollyvox.global)

 [hollyvox.global](https://www.youtube.com/hollyvox.global)

 [hollyvoxglobal](https://www.linkedin.com/company/hollyvoxglobal)

 support@Hollyvox.com

 www.hollyvox.com

宣言文

すべての著作権は、Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd. に帰属します。Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd. の書面による承認がない限り、いかなる組織または個人も、いかなる形式でも、書面または図解コンテンツの一部または全部をコピーまたは複製したり配布することはできません。

商標に関する宣言文

すべての商標は、Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd. に帰属します。

注意：

本ユーザーマニュアルは、製品のバージョンアップグレードなどの理由により、随時更新されます。本書は、特段の合意がない限り、使用上の手引きとしてのみ提供されるものです。本書に記載されているすべての表現、情報、推奨事項は、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証を行うものではありません。